

(研究資料)

野幌林業試験場樹木園の造成経過と現状分析

舟 木 敏 夫⁽¹⁾

Toshio FUNAKI: A History and the Present Status of the Arboretum
of the Former Hokkaido Forest Experiment Station at Nopporo
(Research note)

要 旨：林業試験場北海道支場の前身の一つである野幌林業試験場(内務省所管)は1908年現在の江別市西野幌字志文別に設置されたが、このとき庁舎に隣接して樹木園が造成された。樹木園は1909年から10数年にわたって造成され、面積2.0ha、306区画に202樹種が植栽された。造成にあたっては多くの努力が払われたが、その後の社会情勢の変化により、敷地の約半分は1953年に札幌営林署の種苗事業所用地に転用され、樹木園としての管理は現在行われていない。残存しているのは73区画、49種にすぎないが、植栽時や苗木入手等の記録があり、しかもこれほど多数の高齢の植栽木を1か所に持つのは他になく貴重な存在であり、記録を整備しておく必要があると考える。植栽木の調査は1915年に行われており、その後1、2回行われたようであるが記録はない。今回は造成経過を明らかにするとともに1977年現在における植栽木の残存状況、生育状況などについて調査を行った。植栽樹種の残存状況は用地の転用による減少を除けば約5割が残っている。異郷土樹種と郷土樹種の残存状況は高木については大差はない。広葉樹は針葉樹に比し残存率が低かった。生長状態は14樹種について北海道主要樹種収穫表、野幌試験林の既往のデータと対比して検討したが、胸高生長は優れている反面樹高生長の劣っているのが多い。樹形については幹が2木以上に分れている複幹が多かった。

目 次

| | |
|---------------------|----|
| はじめに | 2 |
| I 樹木園の所在地および概況 | 2 |
| II 樹木園の設計 | 5 |
| 1. 形状、面積、区画 | 5 |
| 2. 樹種配置、植栽本数 | 5 |
| III 樹木園の造成経過とその後の推移 | 7 |
| 1. 造成経過 | 7 |
| 2. その後の推移 | 8 |
| IV 樹木園の現状 | 8 |
| 1. 調査方法 | 8 |
| 2. 調査結果と考察 | 9 |
| あとがき | 26 |
| 引用文献 | 26 |
| 付 表 | 27 |

はじめに

林業試験場北海道支場の前身の一つである野幌林業試験場（内務省所管）は、明治 41 年（1908）現在の江別市西野幌字志文別に開設された。

試験場設立の目的¹⁾は「森林経営上必要ナル技術的事項ヲ調査試験シ其結果ヲ発表シ以テ林業上収益ノ増進並ビニ改良ヲ計ル」ことにあったので、試験項目は造林、施業および木材利用と林業試験の全般にわたった。

このうち造林関係の試験の一つとして、北海道の主要樹種の特徴を把握するために、種子から発苗試験を行うとともに、これらの養成苗や山引き苗を用いて樹木園を造成することが計画された。

樹木園は当時の試験場庁舎に隣接して、明治 42 年（1909）から 10 数年にわたり造成された。造成にあたっては綿密な設計と多くの努力が払われたが、その後の社会情勢の変化により、樹木園としての維持管理は放棄され、敷地の一部は転用されて規模が縮小し、荒廃している。現在でもなお相当数の樹木は現存しており、一方、造成当初の台帳も保存されているが、このまま放置しておく、この樹木園は記録も残らないままに早晩消滅して先人の努力は無に帰すると思われたので、とりあえず 1977 年に樹木園の現況調査を行い、その結果をとりまとめた。

北海道において 70 年を経た樹木園は他にないので、この調査結果は今後の北海道における樹木園造成、見本林造成、一般造林などに参考資料として役立つものと考え、ここに報告する次第である。

本資料をとりまとめるにあたり北海道支場前経営部長 長内 力技官、調査室長 渡部庄三郎技官、前北海道支場調査室長 鈴木啓義技官並びに土壤調査には北海道支場育林部土じょう研究室 塩崎正雄技官にご指導頂いた。厚くお礼申し上げます。

I 樹木園の所在地および概況

(1) 位 置

北緯 43°02'5"、東経 141°31'7"、札幌営林署札幌事業区 42 林班ナ小班、野幌種苗事業所の苗畑敷地内にあり、図 1 の位置図に示した。

(2) 地 形 地 質²⁾

当地域は一般に野幌丘陵と呼ばれており、丘陵の最高点は海拔約 100 m で比較的緩傾斜な地形を呈している。丘陵のほぼ中央部には南北に連なる平坦な野幌面がある。この野幌面の東方には、野幌面よりも低位な第 4 紀更新世の白～褐色粘土、砂、泥炭などからなる学田（がくでん）堆積物がみられる。樹木園はこうした丘陵地の東端、学田堆積物の上に位置しており、海拔 20 m の平坦地である。

(3) 土 壤

樹木園付近には火山灰を母材にした 黒色土壌が分布しているほか、地下水の影響を強く受けたグライ（G）土壌が認められ、樹木園は偽似グライ（ps G）が主体の土壌となっている。その代表的土壌断面は次のとおりである。

L 層：1～2.5 cm、イタヤカエデ、カシワ等の新鮮な落葉。

F 層：0～1 cm、イタヤカエデ、カシワ等の落葉の分解破砕物。

A₁ 層：0～6 cm、極暗褐色（7.5 YR 2/3）、腐植にすこぶる富む壤土、団粒状構造を主とし、軟、潤、

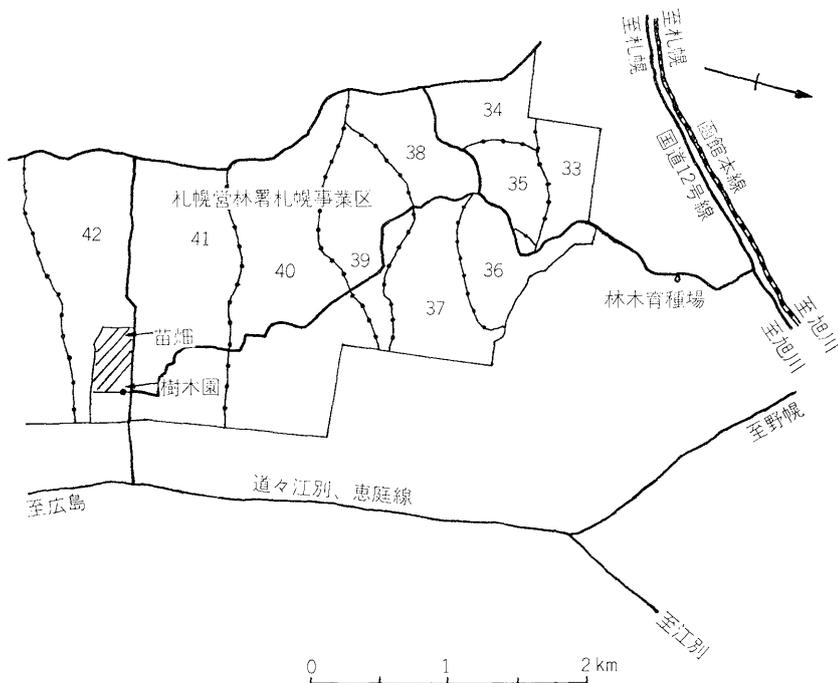
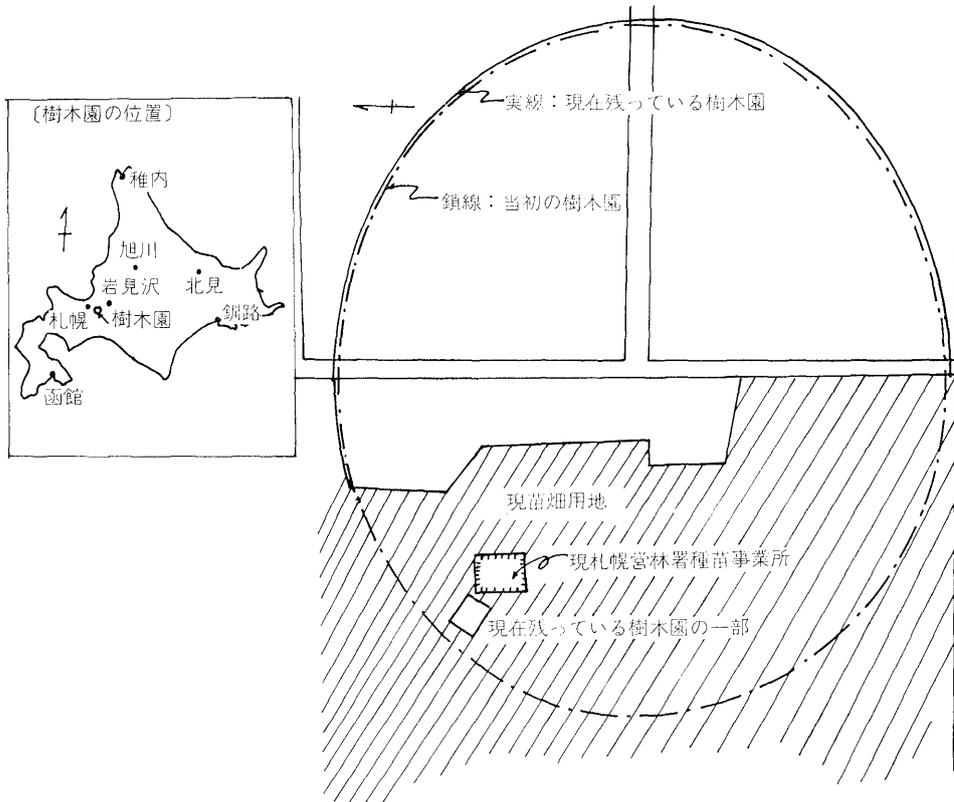


図 1. 位置図

中小根多，層界漸変，母材は火山灰砂。

A₂ 層：6～18 cm，褐色 (10 YR 4/3)，腐植に富む壤土，堅果状構造，軟，潤，小根あり，層界判然，母材は火山灰砂。

B'-g 層：18～48 cm，にぶい黄橙色 (10 YR 6/4) を基色とし，明黄褐色 (10 YR 6/8) の斑鉄を含む，埴質壤土，カベ状構造，堅，層界漸変。

C'-g 層：48 cm～，にぶい黄橙色 (10 YR 7/4)，埴質壤土，カベ状構造，すこぶる堅，潤。

(4) 気 候

1953～1968 年は林業試験場北海道支場野幌試験地 (樹木園から北方約 4 km の地点) での観測⁵⁾，1971～1977 年は樹木園の一角を転用して作られた札幌管林署野幌種苗事業所での観測による資料⁴⁾を示すと表 1 のとおりである。この間には 1969～1970 年の 2 年間は欠測となっているので，これを除いた 23 年間の観測結果に基づけば，年平均気温が最も低いのは 6.2°C，最も高いのは 7.8°C，年平均気温は 7.0°C である。降水量は最も少ないのが 919 mm，最も多いのが 1,467 mm，年平均降水量は 1,203 mm である。また年平均積雪量は 135 cm である。初霜は 9 月下旬，晩霜は 5 月上旬，風は秋季から冬季にかけては北西の風が強く，春夏は南東の風が多い。道内においても強風の吹走地帯に属し，年平均では 4.4 m/sec となっている。

(5) 植 生⁸⁾⁶⁾

この地域は典型的な汎針葉混交林帯で，針葉樹ではトドマツを主とし，わずかにエゾマツ，アカエゾマツを混じている。

広葉樹はウダイカンバ，サワシバ，ミズナラ，ハルニレ，オヒョウ，ホオノキ，キタコブシ，カツラ，ヒロハノキハダ，ニガキ，シナノキ，オオバボダイジュ，コシアブラ，エゾイタヤ，ハリギリ，ヤチダモ等の温帯性，冷温帯性広葉樹によって占められている。

林床植生では，針葉樹林内に優先するチシマザサ，オクヤマザサ，ハイヌガヤ，エゾユズリハ，ミミコウモリの群落が標徴種としてあげられる。広葉樹林内に優先するものはクマイザサ，ミズバショウ，バイケイソウ，イヌスギナ，ヨシなどが主な標徴種として認められ，上層を構成している主な樹種と，それぞれが組み合わされて植物社会を構成している。

樹木園はこのような森林の伐跡地に造成されたものと推定される。

表 1. 年間平均気温と年間降水量

| 年 | 気 温 (°C) | 降 水 量 (mm) | 年 | 気 温 (°C) | 降 水 量 (mm) | 年 | 気 温 (°C) | 降 水 量 (mm) |
|------|-------------|---------------|------|-------------|---------------|------|-------------|---------------|
| 1953 | 6.2 | 1,467.2 | 1962 | 7.4 | 1,208.0 | 1971 | 6.7 | 1,300 |
| 1954 | 6.4 | 1,054.7 | 1963 | 7.7 | 1,276.3 | 1972 | 7.5 | 1,348 |
| 1955 | 7.2 | 1,354.7 | 1964 | 6.5 | 1,314 | 1973 | 7.2 | 1,233 |
| 1956 | 6.9 | 1,298.6 | 1965 | 6.5 | 1,259 | 1974 | 6.7 | 1,119 |
| 1957 | 7.2 | 1,357.7 | 1966 | 6.6 | 1,331.6 | 1975 | 7.1 | 1,342 |
| 1958 | 7.6 | 1,169.9 | 1967 | 6.7 | 1,006.6 | 1976 | 6.5 | 995 |
| 1959 | 7.7 | 1,153.4 | 1968 | 7.4 | 938.7 | 1977 | 7.0 | 1,058 |
| 1960 | 7.1 | 919.0 | 1969 | — | — | 平均 | 7.0 | 1,203 |
| 1961 | 7.8 | 1,094.1 | 1970 | — | — | | | |

(注) 引用文献 5)。

II 樹木園の設計

1. 形状、面積、区画

野幌林業試験場樹木園設計書¹⁾によれば次のようである。

(1) 形状および面積

長径 178.16 m (98 間), 短径 152.71 m (84 間) の楕円形で, 面積は 20,193.55 m² (6,110 坪), うち植栽面積 6,312.55 m² (1,910 坪) であった。

(2) 区 画

楕円状の長径と短径にそって交わる幅 7.27 m (4 間) の基道を設け, 中心部には 18 個の小区画とその外側に 88 個の大区画を作り, 大区画はさらに 2 分または 4 分して 320 区画とした。従って区画数の合計は 338 区画となる。

2. 樹種配置、植栽本数（将来本数）

自然分類方式と応用分類（用途分類）方式を併用し, 前者は ENGLER 式により, 後者は建築, 船舶, 土木, 器具, マッチ（燐寸）, 製紙, 薪炭の 7 種類のほか, 高山植物群を自然分類から除いて別区画とした。この状態を図 2 に示す。

楕円状の中心部に配置された 18 個の小区画には高山植物 26 種を配し, その外側を円周状に 5 列を自然分類用とし, さらにその外側を円周状に 3 列を応用分類として配置する（表 2）。

自然分類用樹種は北海道産（千島, 樺太を含む）の高木, 低木, ササ等とし 144 区画に 165 種, 高山植物は 18 区画に 26 種を予定していた。

応用分類は建築用 51 種, 船舶用 12 種, 土木用 17 種, 器具用 48 種, マッチ用 14 種, 製紙用 9 種, 薪炭用 20 種, 合計 171 種で北海道産のみでなく本州および外国産のものも予定していた。

表 2. 区画および樹種数の計画と実行

| | 区 画 数 | | | 樹 種 数 | | |
|---------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|
| | 計 画 | 実 行 | 実行率 | 計 画 | 実 行 | 実行率 |
| 全 体 | 338 | 306 | 91 (%) | 248 | 202 | 81 (%) |
| 自 然 分 類 | 162 | 150 | 93 | 191 | 159 | 83 |
| 高山植物以外 | 144 | 132 | 92 | 165 | 141 | 85 |
| 高山植物 | 18 | 18 | 100 | 26 | 18 | 69 |
| 応 用 分 類 | 175 | 156 | 89 | 118 | 101 | 86 |
| 建築用材 | 52 | 45 | 87 | 51 | 44 | 86 |
| 船舶用材 | 12 | 12 | 100 | 12 | 12 | 100 |
| 土木用材 | 18 | 17 | 94 | 17 | 16 | 94 |
| 器具用材 | 48 | 44 | 92 | 48 | 44 | 92 |
| マッチ用材 | 14 | 13 | 93 | 14 | 13 | 93 |
| 製紙用材 | 9 | 8 | 89 | 9 | 8 | 89 |
| 薪炭用材 | 22 | 17 | 77 | 20 | 15 | 75 |
| 予 備 | 1 | 0 | 0 | — | — | — |

(注) 樹種数は, 分類間および用途間で重複しているのがため, 積算した値は合計欄と一致しない。

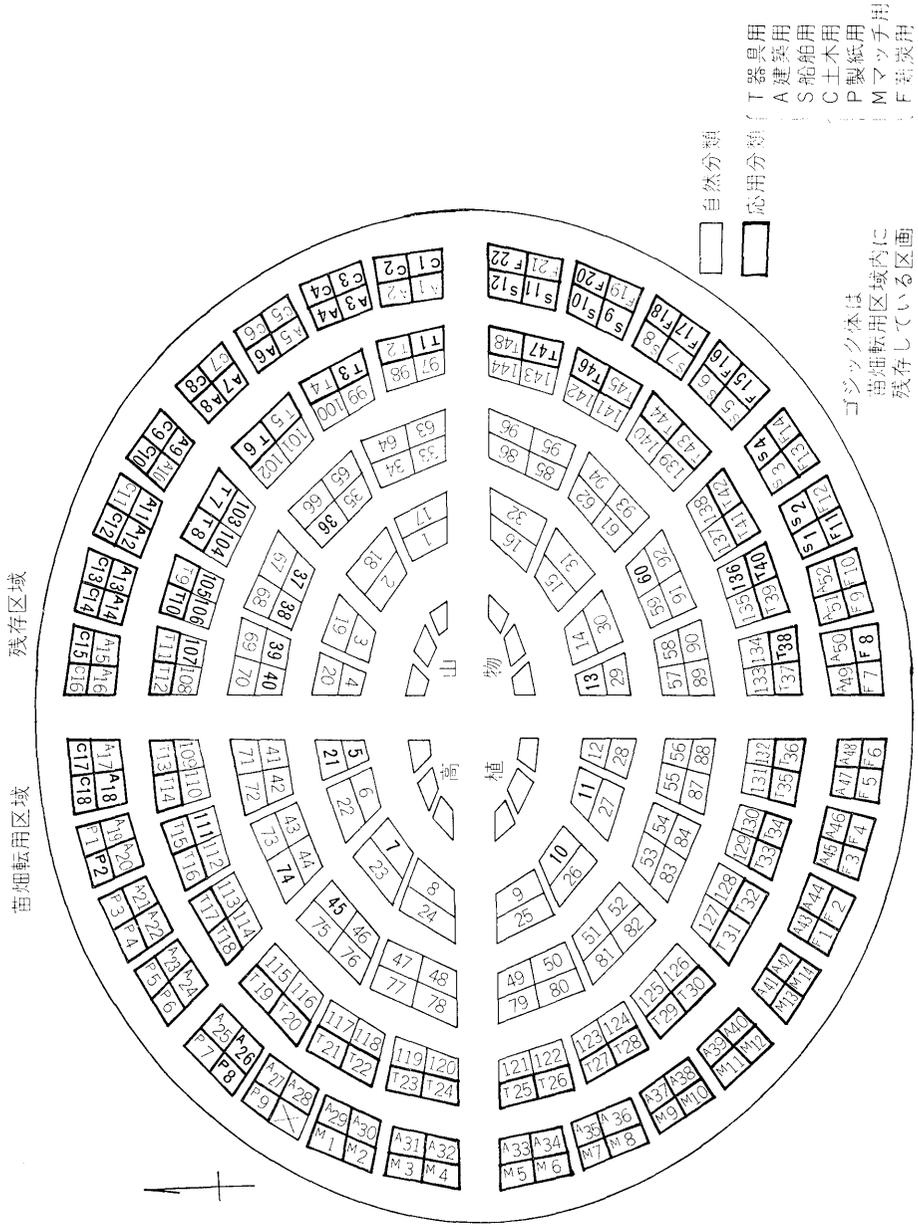


図 2. 樹木配置図

ここで同一樹種で2以上の用途のあるものは、分類間でも用途間でも、またがってそれぞれ植栽することにした。すなわち、応用分類内において用途間で重複しているものを除くと118樹種となり、この応用分類と目的分類間で重複しているものをさらに除くと計画の全樹種数は50科108属248種であった。

区画への樹種の割り付けは科ごとにまとめ、自然分類の低木、ツル、ササの一部と高山植物を除いては1区画1樹種とし、1樹種の植え付け本数は6本とする。そして将来適宜間伐していつて、高木は最終的には1区画1本を残す予定であった。

III 樹木園の造成経過とその後の推移

1. 造成経過

植栽は明治42年に始まり大正10年に終わった。その造成経過は図3に示すとおりで、明治43、44年の2年間に計画の約50%が実行され、大正4年までに約80%に達している。最終的に植栽された総数と計画数とを対比させると表2となる。

区画数としては338区画が用意され実行は306区画に終わった。応用分類別では高山植物と船舶用材とが予定通り実行されたが、他の分類では未植の区画が生じた。

樹種数については計画樹種数248に対して実行樹種数202であり、実行率81%である。植栽本数は1樹種6本植える計画であったが、苗木入手難のため全樹種が6本ずつ植えられてはいない。実行の新植本数が1,515本、これにその後の苗木入手による補充や枯れの補植等を合せて198本が植えられ合計1,713本である（表3）。したがって実行区画数306に対して1区画平均5.6本になる。

この植栽された季節についてみれば5月が最も多く全体の89%がこの月に植えられ、4月が5%、11

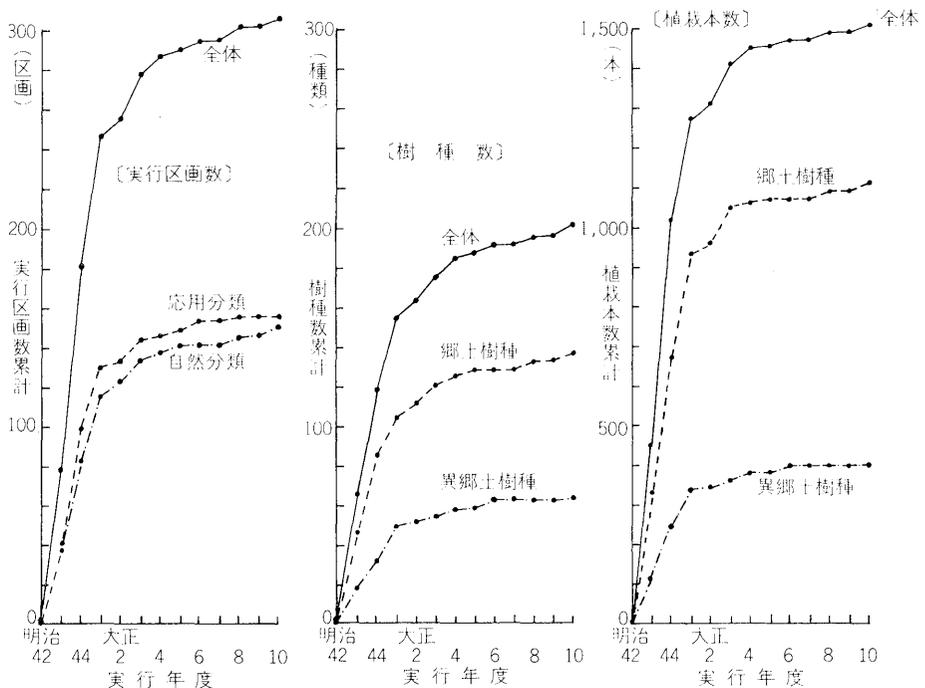


図 3. 造成経過

表3. 時期別植付本数

| 植栽年 | 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 9 | 10 | 11 | 12 | 計 | |
|-----|--------|--------|---------|------------|----|-----|-------|--------|--------|---------|------------|
| 明治 | 42 | (木) | 3 | | | | | | 5 | 8 | |
| | 43 | 18 (3) | 404 | | | 8 | 1 | 14 (6) | | 445 (9) | |
| | 44 | | 570 (4) | | | | | | | 570 (4) | |
| | 45 | | 247 | 7 | | | | | | 254 | |
| 大正 | 2 | 5 | 22(17) | 5 | | | (15) | 5(15) | | 37(47) | |
| | 3 | 25 | 64 (7) | 2 | 3 | 6 | 1 (1) | | | 101 (8) | |
| | 4 | 13 (1) | 24(35) | | | | 2 | | | 39(36) | |
| | 5 | 1 | 5(48) | | | | | (2) | | 6(50) | |
| | 6 | | 14 (5) | | | | | | | 14 (5) | |
| | 8 | | 18 (3) | | | | | | | 18 (3) | |
| | 9 | (1) | 2(35) | | | | | | | 2(36) | |
| | 10 | 21 | | | | | | | | 21 | |
| | 計 | | 83 (5) | 1,373(154) | 14 | 3 | 14 | 4(16) | 19(23) | 5 | 1,515(198) |
| | 百分率(%) | | 5 | 89 | 1 | 0.5 | 1 | 1 | 2 | 0.5 | 100 |

(注) ()は補植で外書。

月が2%の順となり、次いで6, 7, 9, 12月にも少しずつ植えられた。

苗木の出所については、付表で見られるごとく、野幌国有林からの山引き苗が最も多く、次いで道内の営林署から寄贈されたもの、開設直後の林業試験場の苗畑で生産されたもの、東北帝大農科大学（現北海道大学）よりの寄贈、その他の順になっている。

2. その後の推移

造成開始から6年目の大正4年に一斉調査が行われ、この結果に基づいてさらに補植が計画的に行われた。一斉調査はその後1, 2度行われた形跡はあるが記録として残っていない。その後10数年に及ぶ空白時代が続いて現在に至るのであるが、林業試験場はこの間に昭和2年と28年との2度にわたって移転をしている。第1回目は樹木園のそば（志文別）から約4km北、現在の北海道林木育種場の所在地、江別市西野幌に、第2回目は樹木園の西方約26kmの札幌市豊平である。戦時中の空白時代および戦後の混乱時代とならんで、この移転が樹木園の管理に極めて不利な影響を与えたであろうと推察される。

また、昭和28年には樹木園の敷地の約半分の部分が札幌営林署の種苗事業所用地に転用され、残存していた樹木は1部を残して伐採された。それは図2で樹木園の中心を南北に通る基道から西側半分である。そして転用に当たって邪魔にならない立木は西側半分の転用区域内でも点々と残したのである。西側で残されたのは14区画、立木本数41本である。

IV 樹木園の現状

1. 調査方法

(1) 復元

現状調査にあたっては、まず造成時の区画を復元しなければならなかった。

樹木園全体の形としては造成時に造ったと思われる基道と歩道ならびに外周に幅40cm程の溝が切っ

であるのでこれで位置を確認できた。

区画の復元は、1樹種4～6木がまとまって生存しているのがあちこちに20余箇所あり、これを設計当時の図面に落してこれから全区画を類推復元した。

(2) 樹種名

樹木園設計書⁷⁾および樹木園台帳に記載されている樹種の和名および学名はいずれも現在では使用されていないものが多いので、調査にあたり、これを現在普通に用いられている学名、和名に訂正した。

日本産樹木については大井⁷⁾により、外国産樹木については REHDER⁸⁾により、またササについては鈴木⁹⁾によって学名をもとに訂正した。

以上によっても不明な場合は原文のままとした。

(3) 測定法

残存木調査は昭和52年5月に行った。測定項目は次のものである。

- ① 胸高直径（地上 1.3 m）：直径巻尺により 0.1 cm まで読む。
- ② 樹高：ブルーメライス測高器により 0.1 m まで読む。
- ③ 枝下高：同上。
- ④ 枝張り：巻尺により樹幹片側の樹幹から樹冠最長点までの長さを地上において 0.1 m まで読む。

2. 調査結果と考察

(1) 樹木の残存状況

前述のように当初計画されながら植栽されないままに終わったものもあり、植栽された後枯損したものもあり、また転用のため伐採されたものが多数ある。現在1木以上残存しているものは19科29属49種で、73区画194本である。なお転用されず残存している東半分では16科24属43種、59区画153本が残

表4. 樹木の残存状況（区画数）

| | 自然分類 | | | 応用分類 | | | | | | | | 合計 |
|-----------|------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------|-----|-----|
| | 高山植物 | 高山植物以外 | 小計 | 建築用材 | 船舶用材 | 土木用材 | 器具用材 | マッチ用材 | 製紙用材 | 薪炭用材 | 小計 | |
| 計 | 18 | 144 | 162 | 52 | 12 | 18 | 48 | 14 | 9 | 22 | 175 | 337 |
| 植栽 | 18 | 132 | 150 | 45 | 12 | 17 | 44 | 13 | 8 | 17 | 156 | 306 |
| 伐採 | 0 | 50 | 50 | 27 | 0 | 0 | 19 | 12 | 6 | 0 | 65 | 115 |
| 枯損消失 | 18 | 61 | 79 | 6 | 5 | 4 | 15 | 1 | 0 | 9 | 39 | 118 |
| 残存率(1)(%) | 0 | 15 | 13 | 23 | 58 | 72 | 21 | 0 | 22 | 36 | 30 | 22 |
| “ (2)(%) | 0 | 26 | 21 | 67 | 58 | 76 | 40 | 0 | 100 | 47 | 57 | 38 |
| 1 木残存区画数 | 0 | 6 | 6 | 5 | 2 | 2 | 4 | 0 | 1 | 3 | 17 | 23 |
| 2 “ | 0 | 7 | 7 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 7 | 14 |
| 3 “ | 0 | 2 | 2 | 2 | 3 | 5 | 2 | 0 | 0 | 1 | 13 | 15 |
| 4 “ | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 2 | 9 | 10 |
| 5 “ | 0 | 3 | 3 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 8 |
| 6 “ | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 小計 | 0 | 21 | 21 | 12 | 7 | 13 | 10 | 0 | 2 | 8 | 52 | 73 |

(注) 残存率 (1) = 残存区画数 / 計区画数

残存率 (2) = 残存区画数 / (植栽区画数 - 伐採区画数)

存している。

これらの残存状況を区画，樹種，本数に区分して整理したのが以下の通りである。

区画数について示すと表 4 になる。自然分類での高山植物の区画は全区画が枯損消失している。高山植物以外では 144 区画のうち約 2/3 以上のものが伐採と枯損消失とになっている。応用分類では建築，器具，マッチ，製紙用材の区画が大きく伐採され，とくにマッチ用材では残存数が 0 であることがわかる。残存しているのは自然分類で 21 区画，応用分類で 52 区画である。

次に残存状況を樹種数で示すと表 5 になる。郷土樹種（黒松内低地帯以南を除く北海道産樹種）では 51 の樹種が伐採，47 の樹種が枯損消失して，23 の樹種が残存している。針広別では針葉樹の 5 樹種と広葉樹の 18 樹種である。異郷土樹種は針葉樹が 19 種，広葉樹が 7 種の合わせて 26 種が残存している。

伐採のための消失した樹種を除外した残存率では，郷土樹種，異郷土樹種を通じて低木の残存率が低いこと，針葉樹よりも広葉樹の残存率が低いことが明らかである。

また，異郷土樹種は郷土樹種より残存率がむしろ高い値を示しているが，これは郷土樹種の低木の残存率が低いことに起因しておいて，いま高木だけで残存率をみると郷土樹種 66%，異郷土樹種 70% であって類似している。

次に残存本数をみると表 6 のとおりで郷土樹種 107 本，異郷土樹種 87 本が残存しており，郷土樹種の残存本数が多い。針葉樹と広葉樹の比は郷土樹種では約 1：2，異郷土樹種では約 2：1 と逆になっている。

表 5. 樹木の残存状況（樹種数）

| | 郷土樹種 | | | | | 異郷土樹種 | | | | | 合計 |
|----------|------|----|----|----|-----|-------|----|----|----|----|-----|
| | N | | L | | 小計 | N | | L | | 小計 | |
| | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | |
| 植栽樹種数 | 7 | 2 | 66 | 46 | 121 | 34 | 0 | 23 | 6 | 63 | 184 |
| 伐採 | 2 | 1 | 39 | 9 | 51 | 9 | 0 | 11 | 2 | 22 | 73 |
| 枯損消失 | 0 | 1 | 11 | 35 | 47 | 6 | 0 | 5 | 4 | 15 | 62 |
| 残存 | 5 | 0 | 16 | 2 | 23 | 19 | 0 | 7 | 0 | 26 | 49 |
| 残存率 (%) | 100 | 0 | 61 | 5 | 33 | 76 | 0 | 58 | 0 | 63 | 44 |
| 残存本数 1 本 | | | 4 | 1 | 5 | 6 | | 3 | | 9 | 14 |
| ” 2 | 1 | | 3 | 1 | 5 | 3 | | 1 | | 4 | 9 |
| ” 3 | 1 | | | | 1 | 3 | | | | 3 | 4 |
| ” 4 | | | 1 | | 1 | 2 | | 2 | | 4 | 5 |
| ” 5 | 1 | | 2 | | 3 | 4 | | | | 4 | 7 |
| ” 6 | | | 2 | | 2 | | | | | | 2 |
| ” 7 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | 2 |
| ” 10 | 1 | | 1 | | 2 | | | | | | 2 |
| ” 11 | 1 | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 2 |
| ” 12 | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 |
| ” 15 | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 |

- (注) 1) 郷土樹種：黒松内低地帯以南を除く北海道産樹種。
 2) 残存率 (%) = (残存 / (植栽 - 伐採)) × 100。
 3) 樹種数調べで，1 樹種が伐採，枯損消失，残存間に重複している場合次のような整理をした。伐採 - 枯損消失 - 残存 = 残存，伐採 - 枯損消失 = 伐採，残存 - 枯損消失 = 残存にそれぞれ数えた。
 4) 高山植物は除く。

各樹種ごとに残存率を求めてその分布をみると表7のとおりで異郷土樹種と郷土樹種の間には若干違いがあるように見られる。これを高木だけについてみてみるに両者には違いがほとんど認められなくなる。

(2) 残存木の生育状態

残存木の測定結果は表8のとおりであった。

1) 生 長

同一樹種で数本も残存しているものの中には比較的生長のそろっているものもあるが、優劣の差がきわめて大きいものも多い。また、樹種間の差もきわめて大きい。

各樹種の最大木の胸高直径および樹高の分布は表9のとおりで、胸高直径の最大のもは針葉樹ではストロブマツの58cm、広葉樹ではトチノキの59cmであり、樹高で最大のもは、針葉樹ではニホンカ

表6. 樹木の残存状況（本数）

| | 郷土樹種 | | | | | 異郷土樹種 | | | | | 合計 |
|--------------|------|----|-----|-----|-------|-------|----|-----|----|-----|-------|
| | N | | L | | 小計 | N | | L | | 小計 | |
| | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | |
| 植栽本数 | 143 | 15 | 817 | 204 | 1,179 | 277 | 0 | 168 | 25 | 470 | 1,649 |
| 伐採された木の植栽本数 | 35 | 12 | 428 | 48 | 523 | 41 | 0 | 58 | 5 | 104 | 627 |
| 枯損消失した木の植栽本数 | 0 | 3 | 104 | 143 | 250 | 31 | 0 | 32 | 20 | 83 | 333 |
| 残存本数 | 31 | 0 | 73 | 3 | 107 | 56 | 0 | 31 | 0 | 87 | 194 |
| 残存率(%) | 29 | 0 | 19 | 2 | 16 | 24 | 0 | 28 | 0 | 25 | 19 |

- (注) 1) 植栽本数=植栽本数+補植本数。
 2) 残存率(%)=(植栽本数/(植栽本数-伐採された木の植栽本数))×100。
 3) 高山植物は除く。

表7. 樹木の残存状況（残存率別樹種数）

表中の数字は樹種数、()は百分率

| | | 郷土樹種 | | | | | 異郷土樹種 | | | | | 合計 |
|-------|--------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-------------|------------|-------------|--------------|
| | | N | | L | | 小計 | N | | L | | 小計 | |
| | | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | 高木 | 低木 | 高木 | 低木 | | |
| 残存率階級 | 0(%) | 0 | 1 (100) | 11 (41) | 35 (94) | 47 (67) | 6 (24) | 0 | 5 (42) | 4 (100) | 15 (37) | 62 (55) |
| | 1~20 | 2 (40) | | 6 (22) | 1 (3) | 9 (13) | 6 (24) | | 3 (25) | | 9 (22) | 18 (16) |
| | 21~40 | 2 (40) | | 5 (18) | 1 (3) | 8 (11) | 10 (40) | | 1 (8) | | 11 (27) | 19 (17) |
| | 41~60 | 1 (20) | | 1 (4) | | 2 (3) | 1 (4) | | 2 (17) | | 3 (7) | 5 (5) |
| | 61~80 | | | 1 (4) | | 1 (2) | | | 1 (8) | | 1 (2) | 2 (2) |
| | 81~100 | | | 3 (11) | | 3 (4) | 2 (8) | | | | 2 (5) | 5 (5) |
| 計 | | 5 (100) | 1 (100) | 27 (100) | 37 (100) | 70 (100) | 25 (100) | 0 | 12 (100) | 4 (100) | 41 (100) | 111 (100) |

- (注) 1) 残存率=(残存本数/(植栽本数+補植本数))×100。
 2) 残存率階級0は枯損消失したことを示し、伐採された樹種は除く。
 3) 高山植物は除く。

表 8. 残 存 木 調 査 表

| 分類 | 区画 | 和 名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m ³) | 備 考 | 分類 | 区画 | 和 名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m ³) | 備 考 |
|------------------|--------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|-----|------------------|------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|------|
| 自 然 分 類 | 5 | ヒメコマツ | 32.0 | 10.5 | 2.8 | 4.5 | 0.46 | | 自 然 分 類 | 38 | ダケカンバ | 38.5 | 19.5 | 6.5 | | 1.01 | |
| | | | 30.5 | 12.2 | 4.7 | | 0.44 | 2本立 | | | | 27.0 | 16.5 | 4.0 | | 0.47 | |
| | | | 23.5 | 11.0 | 4.8 | | 0.26 | 2本立 | | | | 22.0 | 13.5 | 3.8 | | 0.24 | 半 枯 |
| | | | 14.5 | 10.7 | 4.0 | | 0.09 | | | | | 44.0 | 16.6 | 4.2 | 6.0 | 1.11 | 2本立 |
| | | | 30.0 | 11.2 | 3.5 | | 0.40 | | | | | 38.5 | 17.2 | 3.8 | | 0.85 | |
| | 7 | チョウセンゴヨウ | 36.0 | 17.0 | 9.2 | 4.5 | 0.86 | | | 40 | ヤマハンノキ | 25.0 | 7.6 | 4.0 | 4.0 | 0.17 | 半 枯 |
| | | | 10 | アカエゾマツ | 45.5 | 15.5 | 6.0 | 3.0 | | 1.13 | 45 | ブ ナ | 16.0 | 10.0 | 4.3 | 2.5 | 0.10 |
| | 11 | アカトドマツ | 47.0 | 15.6 | 5.2 | 3.0 | 1.43 | | | | | 21.0 | 9.7 | 4.3 | | 0.47 | |
| | | | 35.5 | 17.0 | 6.0 | 5.0 | 0.86 | | | | | 18.5 | 8.5 | 2.0 | | 0.11 | |
| | | | 43.5 | 17.2 | 5.3 | 5.0 | 1.27 | | | | | 15.0 | 7.5 | 3.0 | | 0.08 | |
| | 13 | ヒノキアスナロ | 20.5 | 12.8 | 3.5 | 3.0 | 0.22 | | | 60 | ヒカツラ*) | 21.0 | 11.5 | 2.5 | | 0.20 | |
| | | | 24.5 | 14.2 | 3.5 | | 0.33 | | | 74 | クロミサンザシ | 26.0 | 8.2 | 2.5 | 6.0 | 0.17 | |
| | 21 | サワグルミ | 26.0 | 11.5 | 4.8 | 2.0 | 0.28 | | | | | 36.0 | 8.2 | 1.8 | | 0.33 | |
| | | | 22.0 | 11.5 | 2.0 | | 0.20 | | | 103 | クロウメモドキ | 15.5 | 7.2 | 1.0 | 2.0 | 0.07 | |
| | | | 25.5 | 10.3 | 4.0 | | 0.22 | | | | | 24.0 | 7.5 | 1.0 | 3.5 | 0.15 | |
| 36 | ウダイカンバ | 29.0 | 14.2 | 5.0 | 4.5 | 0.43 | | 104 | ミツバウツギ | 18.0 | 7.5 | 1.8 | 2.5 | 0.10 | | | |
| | | 30.0 | 14.0 | 3.5 | | 0.43 | | 105 | イタヤカエデ | 11.0 | 8.4 | 4.0 | 2.5 | 0.04 | | | |
| 37 | シラカンバ | 32.0 | 21.7 | 10.9 | 7.0 | 0.82 | | 106 | イタヤカエデ | 12.6 | 9.1 | 1.8 | 2.5 | 0.05 | 2本立 | | |
| | | 42.5 | 21.7 | 3.0 | | 1.35 | | | | 11.5 | 8.3 | 2.7 | | 0.04 | | | |
| | | 32.5 | 22.0 | 8.3 | | 0.82 | 2本立 | | | 21.0 | 12.5 | 5.0 | 2.0 | 0.22 | | | |
| | | 37.8 | 21.7 | 9.0 | | 1.12 | | 107 | クロビイタヤ | 32.0 | 13.7 | 3.5 | 5.5 | 0.50 | | | |
| | | 37.0 | 21.5 | 8.0 | | 1.12 | 2本立 | 111 | カラコギカエデ | 22.5 | 17.0 | 7.0 | 3.5 | 0.30 | | | |
| 38 | ダケカンバ | 32.0 | 16.0 | 5.0 | 3.5 | 0.57 | | | | 20.5 | 17.2 | 7.0 | | 0.25 | | | |
| | | 36.0 | 18.3 | 6.8 | | 0.82 | | | | 23.5 | 17.2 | 3.0 | | 0.36 | | | |

*) カツラは材質上ヒカツラ、アオカツラと区別されることがある。ヒカツラが良好とされるが、学問的には明確でない。

表8. (つづき)

| 分類 | 区画 | 和名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m ³) | 備考 | 分類 | 区画 | 和名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m ³) | 備考 | | | | | |
|------------------|--------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|------|------------------|----------|---------------|------------|------------------|-----------|-------------|-------------------------|------|------|------|-----|------|--|
| 自然 分類 | 111 | カラコギカエデ | 30.0 | 16.7 | 3.5 | | 0.54 | 3本立 | 建 築 用 材 | 13 14 | アカエゾマツ | 28.5 | 16.0 | 6.5 | 3.0 | 0.50 | | | | | | |
| | | | 29.0 | 17.8 | 3.0 | 5.5 | 0.58 | | | | | 35.0 | 18.8 | 5.0 | 3.5 | 0.95 | | | | | | |
| | 16.0 | 12.2 | 2.5 | | 0.12 | 46.0 | 19.2 | | | | | 5.0 | 4.5 | 1.53 | | | | | | | | |
| | 136 | ヤチダモ | 36.5 | 14.5 | 4.5 | | 0.67 | | | | | 33.0 | 15.5 | 9.0 | 3.0 | 0.73 | | | | | | |
| | 35.0 | | 16.7 | 7.0 | 6.5 | 0.77 | 14 | | | | | ヨーロッパトウヒ | 39.5 | 18.5 | 5.5 | | | 1.17 | | | | |
| | 32.7 | | 17.0 | 3.5 | | 0.61 | | | | | | | 33.5 | 19.1 | 5.5 | 4.0 | | 0.85 | | | | |
| 36.7 | 15.7 | | 4.3 | | 0.72 | | 25.0 | 17.2 | 5.0 | | 0.46 | | | | | | | | | | | |
| 建 築 用 材 | 3 4 | ニホンカラマツ | 20.8 | 11.5 | 4.2 | 3.4 | 0.18 | 2本立 | 材 | 18 26 | オレゴンパイン スギ | | 27.5 | 17.3 | 5.0 | | 0.53 | | | | | |
| | | | 41.0 | 11.2 | 3.5 | 4.0 | 0.78 | | | | | 34.0 | 19.1 | 6.0 | | 0.85 | | | | | | |
| | | | 21.5 | 8.8 | 3.0 | 3.0 | 0.18 | | | | | 20.0 | 11.2 | 5.0 | 2.5 | 0.19 | | | | | | |
| | | | 31.0 | 12.0 | 3.4 | 4.4 | 0.50 | | | | | 25.0 | 14.3 | 8.2 | 2.8 | 0.38 | 2本立 | | | | | |
| | | | 23.0 | 7.7 | 3.0 | 2.5 | 0.19 | | | | | 37.5 | 15.5 | 3.3 | | 0.90 | | | | | | |
| | 6 7 | アカマツ | 36.3 | 14.3 | 6.0 | 3.5 | 0.72 | | | | | | 33.3 | 16.7 | 8.5 | | 0.77 | | 2本立 | | | |
| | 7 | | ヨーロッパアカマツ | 35.7 | 16.0 | 9.5 | 2.0 | | | | | 0.81 | | | | | | | | | | |
| | 8 | ストロープマツ | 39.2 | 13.7 | 3.0 | 3.0 | 0.88 | | | | | 2本立 | 船 舶 用 材 | 1 | イ チ イ | 14.0 | 5.5 | | 1.0 | | 0.05 | |
| | | | 48.0 | 20.3 | 5.0 | 5.0 | 1.74 | | | | | | | | | 14.0 | 5.5 | | 0.3 | | 0.05 | |
| | | | 26.7 | 12.0 | 7.0 | 3.0 | 0.33 | | | | | | | | | 10.7 | 6.0 | | 1.5 | 4.0 | 0.03 | |
| | | | 57.5 | 17.6 | 6.5 | 3.8 | 2.29 | | | | | | | | | 9.7 | 6.4 | | 1.0 | 3.0 | 0.03 | |
| | | | 38.0 | 20.8 | 6.5 | 5.0 | 1.15 | | | | | | | | | 18.5 | 7.5 | | 1.5 | | 0.01 | |
| 9 11 | リギダマツ | 44.0 | 19.5 | 4.5 | 5.0 | 1.47 | 2本立 | 材 | 2 | ニホンカラマツ | 41.0 | 21.5 | 7.6 | 6.0 | 1.41 | | | | | | | |
| 27.0 | | 9.0 | 4.0 | 1.5 | 0.29 | 33.8 | | | | | 20.6 | 8.0 | | 0.89 | | | | | | | | |
| 11 | | エゾマツ | 32.5 | 16.8 | 7.0 | 4.0 | | | | | 0.68 | 41.0 | 19.6 | 3.5 | | | 0.85 | | | | | |
| 29.0 | 18.5 | | 7.5 | | 0.67 | 4 | | | | | ヒノキ | 30.0 | 12.8 | 3.0 | | | 0.47 | 半枯 | | | | |
| 35.5 | 18.5 | | 5.5 | | 0.95 | 26.0 | | | | | | 11.0 | 3.5 | | 0.31 | | 3本立 | | | | | |
| 32.0 | 16.0 | 8.0 | | 0.65 | 26.5 | 12.8 | | | | | | 2.0 | | 0.36 | | | | | | | | |
| 12 | アカエゾマツ | 32.0 | 16.0 | 8.0 | | 0.65 | | | | | | 9 | ハリギリ | 21.8 | 14.2 | | 4.0 | 5.0 | 0.24 | 2本立 | | |

表 8. (つづき)

| 分類 | 区画 | 和 名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m³) | 備 考 | 分類 | 区画 | 和 名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m³) | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|------------------|----------|------------------|------------------|-----------|-----------|-----------|------------------|--------|------|------------------|------|--------|------|------------------|-----|--------|------------------|------|--------|--------|------|------------------|-----|--------|--------|------|------|-----|
| 船 舶 用 材 | 10 | ヤ チ ダ モ | 31.5 | 18.1 | 5.4 | | 0.65 | | 土 木 用 材 | 10 | サ ワ ラ | 32.0 | 15.8 | 4.5 | 3.0 | 0.65 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 39.0 | 20.3 | 7.0 | | 1.11 | | | 12 | ク リ | 18.8 | 9.5 | 5.0 | 0.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 33.0 | 18.7 | 8.0 | | 0.78 | | | 13 | カ シ ワ | 18.0 | 10.2 | 5.5 | 3.0 | 0.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11 | ケ ヤ キ | 29.0 | 15.7 | 5.5 | 4.5 | 0.51 | | | 5 本立 | 13 | カ シ ワ | 18.0 | 9.5 | 4.5 | | | 0.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 12 | ブ ナ | 43.0 | 16.8 | 3.0 | | | 4.5 | 1.11 | 2 本立 | 14 | ミ ズ ナ ラ | 22.5 | 15.6 | | 5.0 | | 0.28 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 26.5 | 15.5 | | | 3.0 | | 0.36 | | | 3 本立 | 33.0 | 17.0 | 7.7 | | 6.0 | 0.69 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15.0 | 13.6 | | | 2.5 | | 0.14 | | | 2 本立 | 44.3 | 15.8 | 4.2 | | 4.5 | 1.04 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10.0 | 7.5 | | | 2.0 | | 0.03 | | | 3 本立 | 56.0 | 14.3 | 3.5 | | | 1.40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 19.5 | 17.8 | | | 8.0 | | 0.07 | | | 2 本立 | 32.5 | 16.1 | 3.0 | | 2.0 | 0.57 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 土 木 用 材 | 1 | シベリヤカラマツ | 32.5 | 11.6 | 4.0 | 3.5 | | | 0.50 | 半 枯 | 器 具 用 材 | 1 | イ チ ョ ウ | 13.5 | 6.0 | | 2.0 | 2.6 | 0.04 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33.5 | | | | 13.5 | 4.0 | 2.5 | 0.64 | 22.0 | 7.5 | 1.6 | | | | | 1.5 | 0.13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | ダフリカカラマツ | 33.0 | 14.2 | 3.5 | 2.5 | 0.64 | 2 本立 | 6 | チョウセンゴヨウ | | | | | 28.0 | 13.6 | 3.0 | 3.0 | 0.44 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 25.0 | 10.7 | 2.5 | 2.5 | 0.31 | | | | | | | | 35.0 | 16.2 | 3.5 | 2.0 | 0.81 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | ニホンカラマツ | 31.5 | 8.8 | 3.5 | 4.5 | 0.38 | | | | | | | | 2 本立 | 7 | アカエゾマツ | 40.0 | 17.5 | 5.5 | | 0.99 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 19.8 | 11.0 | 6.5 | 1.0 | 0.17 | | | | | | | | | | | 34.0 | 15.8 | 3.5 | 3.0 | 1.00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 30.5 | 12.6 | 5.5 | 2.8 | 0.44 | | | | | | | | | | | 48.0 | 19.2 | 5.0 | 4.0 | 1.67 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | ヨーロッパカラマツ | 13.5 | 5.8 | 3.5 | 1.5 | 0.05 | | | | | | | | | | | 半 枯 | 器 具 用 材 | 7 | アカエゾマツ | 45.0 | 16.7 | 5.0 | | 1.21 | | | | | | | | | | | |
| | | | 20.0 | 8.2 | 6.8 | | 0.14 | | | | | | | | | | | | | | | 33.0 | 17.2 | 6.2 | | 0.69 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | ヒノキアスナロ | 7.0 | 3.8 | 3.0 | | 0.01 | | | | | | | | | | | | | | | 半 枯 | 器 具 用 材 | 7 | アカエゾマツ | 35.5 | 14.5 | 5.5 | | 0.72 | | | | | | | |
| | 27.0 | | 14.2 | 4.0 | 2.5 | 0.44 | 2 本立 | | | | 器 具 用 材 | 7 | アカエゾマツ | 19.0 | | | | | | | | | | | | 12.3 | 11.5 | 2.0 | 0.25 | | | | | | | | |
| 9 | ヒ ノ キ | 20.0 | 15.0 | 12.0 | 2.0 | 0.25 | | | | | | | | 2 本立 | | | | | | | | | | | | 器 具 用 材 | 7 | アカエゾマツ | 20.0 | 15.0 | 12.0 | 2.0 | 0.25 | | | | |
| | | 20.0 | 15.0 | 12.0 | 2.0 | 0.25 | | 2 本立 | 器 具 用 材 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | アカエゾマツ | 20.0 | 13.5 | 4.6 | 3.0 | 0.23 | | | |
| 10 | サ ワ ラ | 20.0 | 13.5 | 4.6 | 3.0 | 0.23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 本立 | 器 具 用 材 | 7 | アカエゾマツ | 23.0 | 13.5 | 4.0 | |
| | | 23.0 | 13.5 | 4.0 | | 0.33 | | | | | | | | | 2 本立 | 器 具 用 材 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | アカエゾマツ | 23.0 | 13.5 | 4.0 |

表 8. (つづき)

| 分類 | 区画 | 和名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m³) | 備考 | 分類 | 区画 | 和名 | 直径 (cm) | 樹高 (m) | 枝下 (m) | 枝張 (m) | 材積 (m³) | 備考 | |
|----------|----|---------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|---------------------------------|--------------|-----|----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|
| 器具 用材 | 7 | アカエゾマツ | 44.3 | 17.2 | 5.0 | 3.5 | 1.27 | 3本立 2本立 3本立 3本立 2本立 | 薪 炭 用材 | 11 | ブナ | 30.0 | 22.5 | 6.0 | 8.0 | 0.77 | 6本立 | |
| | | | 40.0 | 17.1 | 4.0 | 4.0 | 1.06 | | | 15 | カシワ | 49.0 | 20.3 | 3.0 | 8.0 | 1.68 | | |
| | 8 | イブキ | 24.5 | 10.5 | 4.5 | 2.3 | 0.26 | | | | | 36.5 | 18.5 | 3.5 | | 0.86 | 2本立 | |
| | 10 | サワグルミ | 41.0 | 20.5 | 5.5 | 5.5 | 1.28 | | | | | 45.5 | 17.5 | 1.5 | | 1.28 | | |
| | 38 | トチノキ | 29.0 | 15.5 | 2.5 | | 0.51 | | | | 16 | ミズナラ | 33.5 | 18.4 | 3.5 | 9.0 | 1.18 | 2本立 |
| | | | 59.0 | 15.7 | 2.5 | 7.3 | 1.84 | | | | | 26.0 | 17.4 | 6.0 | | 0.44 | | |
| | | | 46.5 | 15.6 | 2.5 | | 1.13 | | | | | 13.2 | 12.6 | 7.5 | | 0.10 | 2本立 | |
| | | | 50.0 | 15.5 | 2.5 | | 1.32 | | | | | 26.8 | 15.8 | 9.3 | | 0.39 | 2又 | |
| | 40 | ハリギリ | 22.0 | 11.7 | 2.2 | 3.0 | 0.20 | | | | 17 | ミズナラ | 37.0 | 16.4 | 6.0 | | 0.79 | |
| | 46 | ヤチダモ | 34.0 | 16.8 | 5.0 | 8.0 | 0.69 | | | | | 26.5 | 15.0 | 7.0 | | 0.36 | | |
| | | | 41.0 | 18.3 | 5.0 | | 1.18 | | | | 18 | イタヤカエデ | 19.5 | 9.7 | 2.5 | | 0.14 | |
| | | | 19.3 | 16.4 | 10.0 | | 0.24 | | | | | 23.5 | 13.6 | 3.0 | | 0.28 | 3本立 | |
| | | | 37.0 | 18.7 | 7.0 | | 0.96 | | | | | 24.0 | 13.0 | 5.3 | | 0.26 | | |
| | | | 25.8 | 17.0 | 5.0 | | 0.41 | | | | | 15.0 | 13.5 | 2.3 | 5.5 | 0.14 | | |
| | 47 | ハシドイ | 21.0 | 6.3 | 1.0 | 2.5 | 0.09 | | | 9.5 | 6.0 | 3.5 | | 0.02 | | | | |
| 製紙用材 | 2 | アカエゾマツ | 37.3 | 14.2 | 7.3 | 4.0 | 0.80 | | | 20 | イロハモミジ | 13.5 | 7.0 | 1.5 | 4.5 | 0.05 | 3本立 | |
| | | | 37.5 | 14.2 | 7.3 | | 0.80 | | | 22 | ノルウェーカエデ | 28.0 | 15.7 | 3.5 | 3.0 | 0.44 | | |
| 薪炭用材 | 8 | カワラハンノキ | 46.0 | 21.7 | 4.4 | | 1.60 | | 器具用材 | 3 | イヌガヤ | 4本現存, 匍伏状 | | | | | | |
| | | | 22.7 | 18.7 | 6.5 | 6.5 | 0.34 | | | | | | | | | | | |
| | | | 51.0 | 21.0 | 5.5 | | 1.90 | | | | | | | | | | | |
| | | | 37.0 | 20.8 | 2.0 | | 1.07 | | | | | | | | | | | |

野幌林業試験場本園の造成経過と現状分析 (研究資料) (付木)

ラマツの 22 m, 広葉樹ではブナの 23 m である。樹高 20 m を超えるものは針葉樹ではニホンカラマツ, ストローブマツの 2 樹種にすぎないが, 広葉樹ではブナ, シラカンバ, カワラハンノキ, サワグルミ, ヤチダモ, カシワの 6 樹種, また胸高直径で 40 cm を超えるものは針葉樹ではストローブマツ, アカエゾマツ, アカトドマツ, ヒメコマツ, ニホンカラマツの 5 樹種, 広葉樹ではトチノキ, ミズナラ, カワラハンノキ, カシワ, ハリエンジュ, ブナ, ヤチダモ, シラカンバ, サワグルミの 9 樹種で, 直径・樹高ともに広葉樹が針葉樹よりも大きいものが多く存在している。

郷土樹種も異郷土樹種もそれぞれ半数以上が胸高直径 30 cm 以上, 樹高 15 m 以上に達している。

一般的にこれら樹高は樹齢からみてあまり高くないように思われる。北海道造林樹種としてできている林分収穫予想表または過去測定値の野幌試験林データと対比できる 14 樹種について, 樹高, 胸高直径を比較したのが図 4-(1)~(14) である。生長を既往の参考資料と比較したとき, 樹高生長は悪いが胸高生長は明らかに上回っているものとして 6 樹種 (アカトドマツ, エゾマツ, ヨーロッパアカマツ, ヨーロッパトウヒ, ストローブマツ, ヤチダモ), 樹高生長は既往の資料に近いが胸高生長は明らかに上回るものとして

表 9. 樹種ごとの最大木の胸高直径, 樹高分布

| | 階級 | 郷土樹種 | | 異郷土樹種 | | 種名 |
|------|---------------|------|---|-------|---|--|
| | | N | L | N | L | |
| 胸高直径 | (cm) 10~20 | 1 | 2 | | 1 | イチイ, ミツバウツギ, クリ, イロハモミジ |
| | 20~30 | | 6 | 5 | 2 | イチョウ, イブキ, ヒノキアスナロ, リキダマツ, オレゴンパイン, ヒカツラ, ハシドイ, ハリギリ, クロウメモドキ, ヤマハンノキ, イタヤカエデ, ケヤキ, ノルウェーカエデ |
| | 30~40 | 1 | 5 | 11 | | エゾマツ, ヒノキ, サワラ, トウヒ, スギ, アカマツ, ヨーロッパカラマツ, ヨーロッパアカマツ, ヨーロッパトウヒ, ダフリカカラマツ, シベリヤカラマツ, チョウセンゴヨウ, ウダイカンバ, ダケカンバ, カラコギカエデ, クロビイタヤ, クロミサンザシ |
| | 40~50 | 3 | 3 | 1 | 3 | アカエゾマツ, アカトドマツ, ヒメコマツ, ニホンカラマツ, シラカンバ, ヤチダモ, カシワ, ブナ, サワグルミ, ハリエンジュ |
| | 50~60 | | 2 | 1 | 1 | ストローブマツ, ミズナラ, トチノキ, カワラハンノキ |
| 樹高 | (m) 6~9 | 1 | 5 | 1 | 1 | イチイ, イチョウ, ハシドイ, クロウメモドキ, ミツバウツギ, クロミサンザシ, ヤマハンノキ, イロハモミジ |
| | 9~12 | | 2 | 3 | | イブキ, リキダマツ, オレゴンパイン, ヒカツラ, クリ |
| | 12~15 | 1 | 4 | 5 | | ヒメコマツ, アカマツ, ヒノキアスナロ, ヨーロッパカラマツ, シベリヤカラマツ, ダフリカカラマツ, イタヤカエデ, ウダイカンバ, ハリギリ, クロビイタヤ |
| | 15~18 | 1 | 2 | 6 | 3 | アカトドマツ, ヒノキ, サワラ, トウヒ, スギ, ヨーロッパアカマツ, チョウセンゴヨウ, カラコギカエデ, トチノキ, ケヤキ, ハリエンジュ, ノルウェーカエデ |
| | 18~21 | 2 | 4 | 2 | 1 | エゾマツ, アカエゾマツ, ストローブマツ, ヨーロッパトウヒ, ヤチダモ, ミズナラ, ダケカンバ, カシワ, サワグルミ |
| | 21~24 | | 1 | 1 | 2 | ニホンカラマツ, シラカンバ, ブナ, カワラハンノキ |

(注) イヌガヤは直径, 樹高とも測定不能のため計上しない。

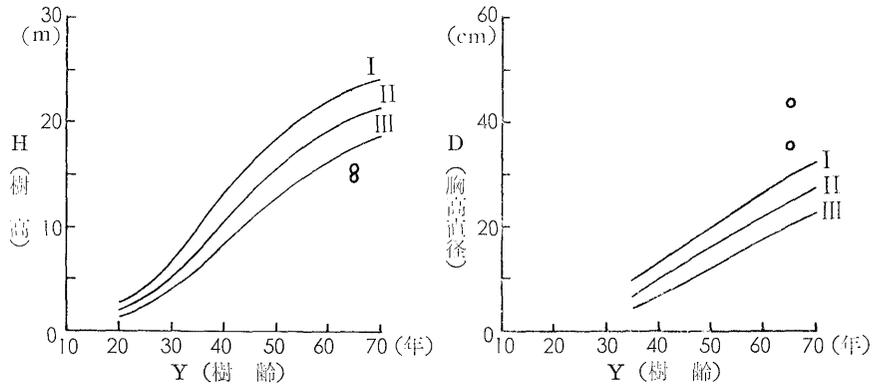


図4-(1). アカトドマツ
(図中の曲線は収穫表の値で、引用文献 10, p.20)

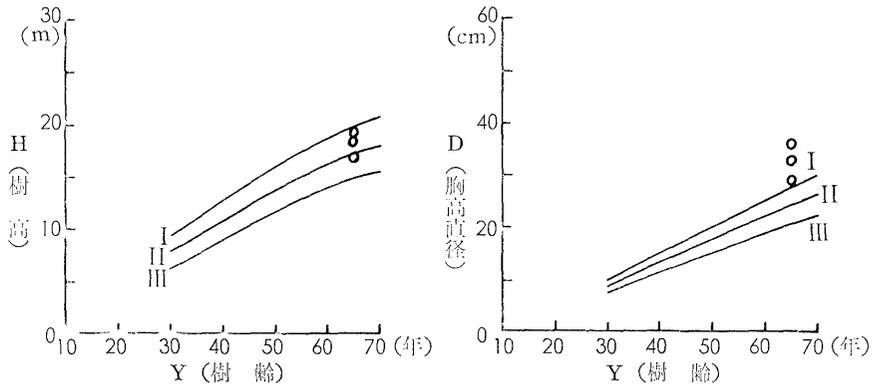


図4-(2). エゾマツ
(引用文献 10, p.60)

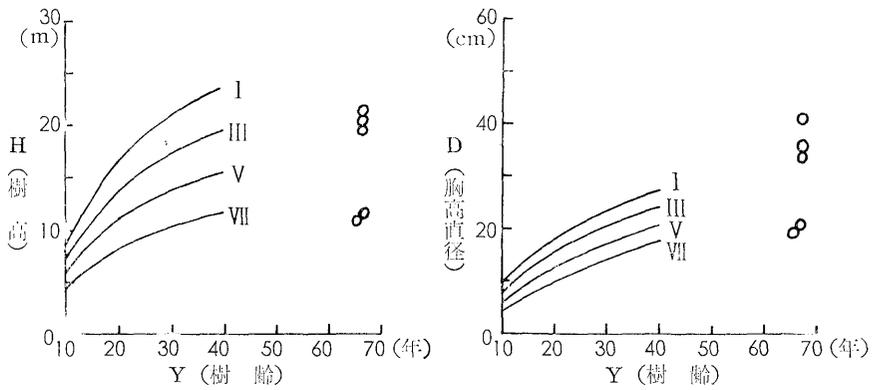


図4-(3). ニホンカラマツ
(引用文献 10, p.70)

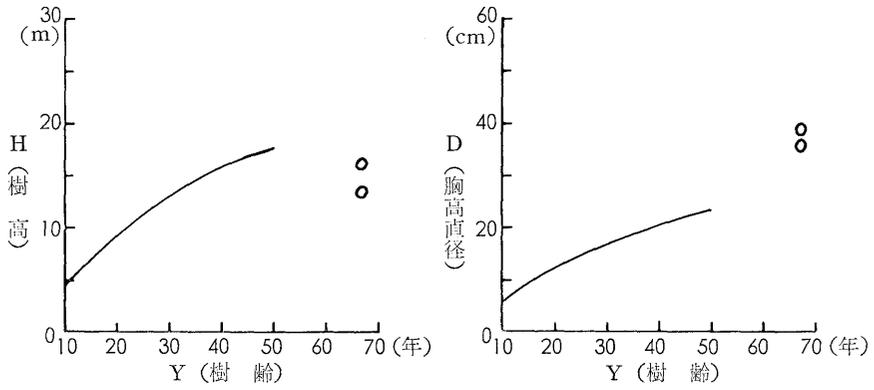


図4-(4). ヨーロッパアカマツ
(引用文献 11), p.24)

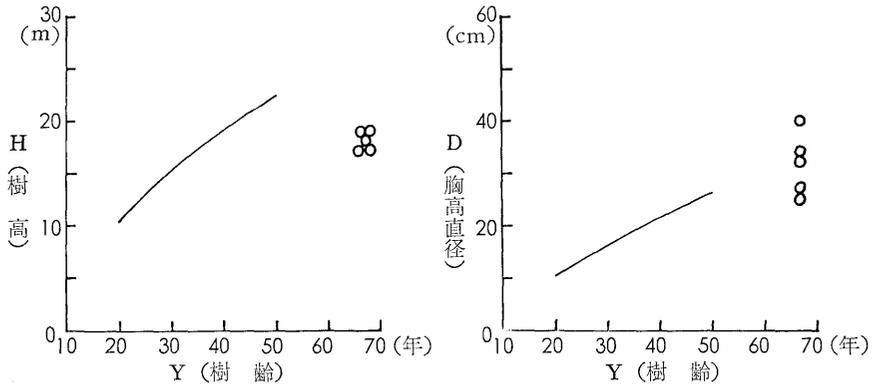


図4-(5). ヨーロッパトウヒ
(引用文献 11), p.21)

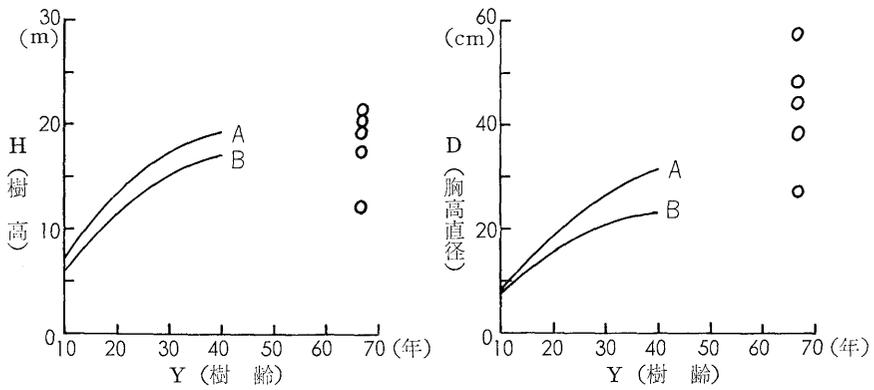


図4-(6). ストロブマツ
(引用文献 11), p.23)

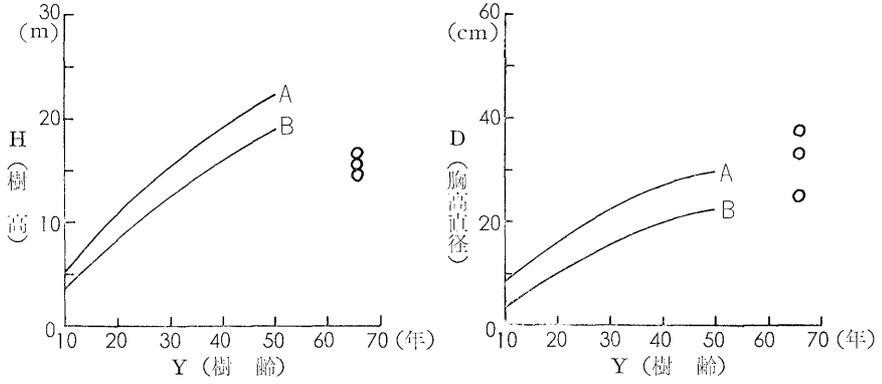


図4-7). スギ
(引用文献 13), p.50)

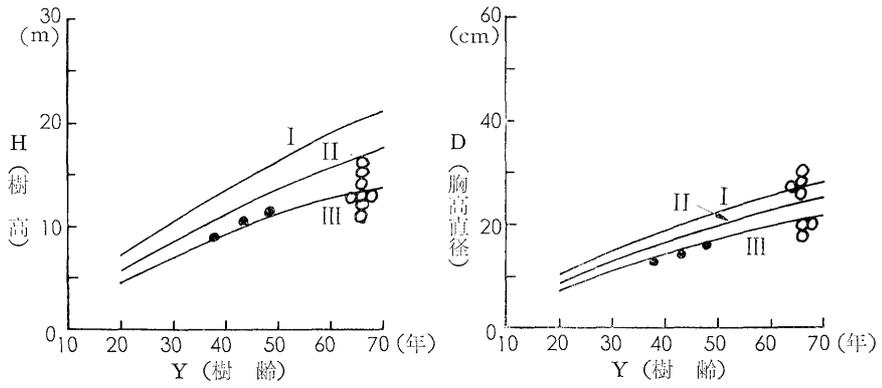


図4-8). ヒノキ
(引用文献: ● 12), --- 14)

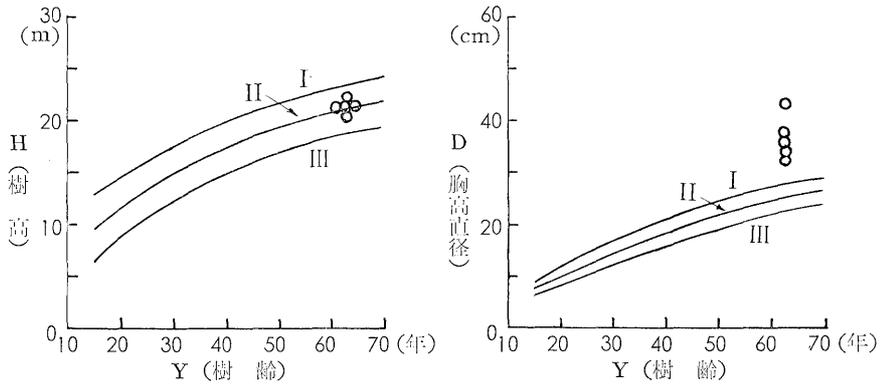


図4-9). シラカンバ
(引用文献 11), p.55)

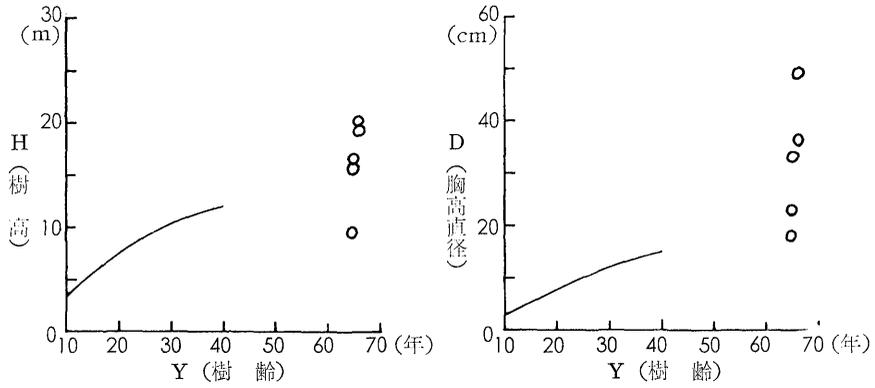


図4-(10). カシワ
(引用文献 11, p.36)

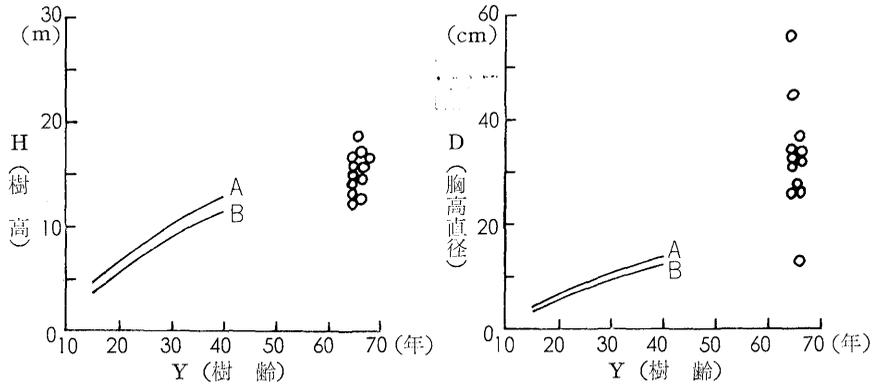


図4-(11). ミズナラ
(引用文献 11, p.34)

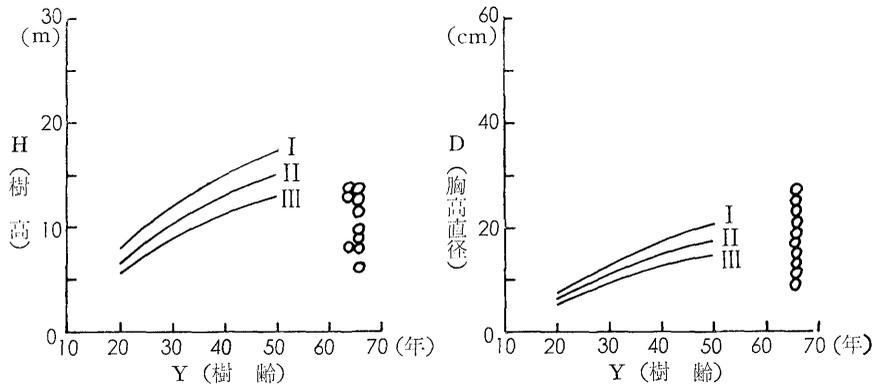


図4-(12). イタヤカエデ
(引用文献 11, p.41)

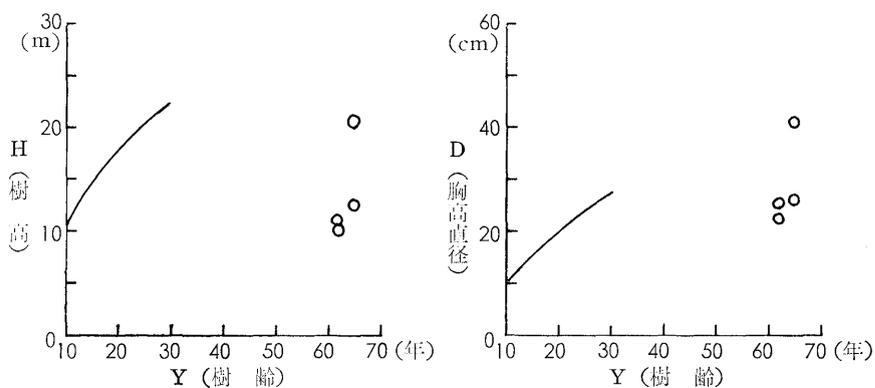


図4-(13). サワグルミ
(引用文献 11), p. 43)

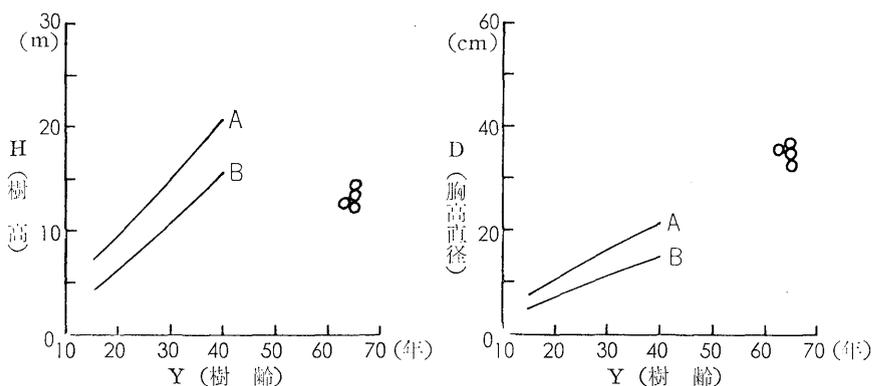


図4-(14). ヤチダモ
(引用文献 11), p. 39)

3 樹種 (シラカンバ, カシワ, ミズナラ), また, 樹高生長は悪いけれど胸高生長は既往の資料に近いものとして 2 樹種 (スギ, イタヤカエデ) が挙げられる。

このように樹高生長はあまり良好でなく, 直径生長はそれほど不良でない。

2) 形 態

樹木園の樹木には 1 木で 2 以上の幹に分かれているもの (複幹) がみられる。

針葉樹では複幹は 6 樹種に 9 本みられる。すなわちヒメコマツ, スギ, サワラ, イチイ, ヨーロッパアカマツには 2 本立ちが, ヒノキには 3 本立ちが出現している。

広葉樹では複幹は 12 樹種に 24 本みられる。すなわちシラカンバ, カワラハンノキ, イタヤカエデ, ハリギリ, トチノキ, ブナ, カシワ, ミズナラに 2 本立ち, イロハモミジ, イタヤカエデ, カラコギカエデ, サワグルミ, トチノキ, ブナには

表 10. 残存木の複幹数調べ

| 項目 | 全樹種数 | 複幹樹種数 | 樹種率 (%) | 残存本数 | 複幹本数 | 複幹率 (%) |
|----|------|-------|---------|------|------|---------|
| N | 24 | 6 | 25 | 87 | 9 | 10 |
| L | 25 | 12 | 48 | 107 | 24 | 22 |
| 計 | 49 | 18 | 37 | 194 | 33 | 17 |

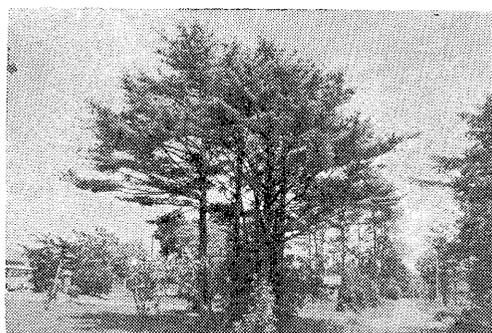


写真1. ヒメコマツ

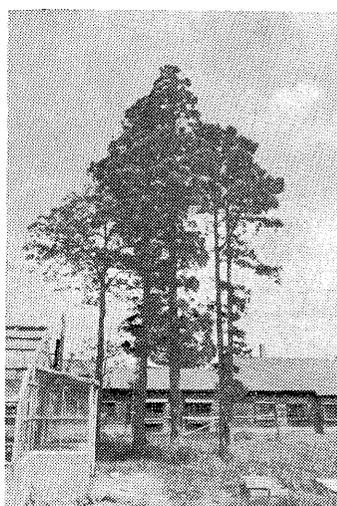


写真2. カワラハンノキ (左)
スギ (右)



写真3. ヨーロッパアカマツ (左)
ストロブマツ (右)



写真4. ヤチダモ

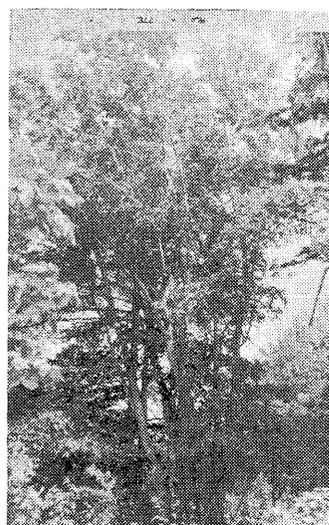


写真5. ブナ



写真6. ハリエンジュ (左端および右端)
アカエゾマツ (左から3本目)
ヤチダモ (中央)

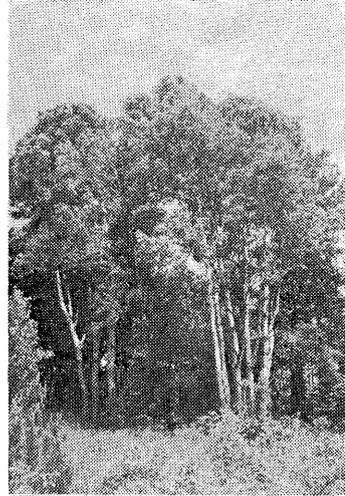


写真7. ダケカンバ (左)
シラカンバ (右)

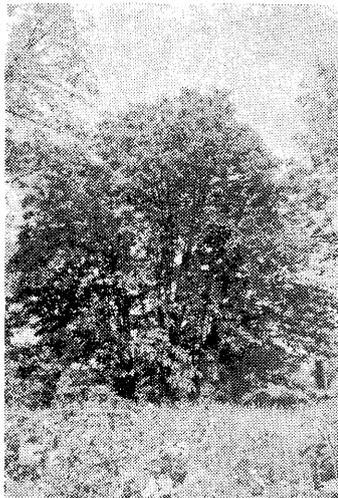


写真8. トチノキ



写真9. ケヤキ

3本立ち、ケヤキに5本立ち、ブナに6本立ちがそれぞれ出現している。

複幹の発生率をまとめたのが表 10 であり、針葉樹は樹種数の 25%、本数の 10%、広葉樹は樹種数の 48%、本数の 22% で広葉樹の方が複幹を生じやすいことが示された。これらの複幹の発生は過去の病虫獣害または気象害によると思われるが、記録がなく原因を明らかにすることはできない。

これらの一部は写真に示されている。

写真1 ヒメコマツ 6 本

自然分類 No. 5 区画, 明治 43 年植 (67 年生), 最大木樹高 10.5 m, 胸高直径 32.0 cm。

写真2 カワラハンノキ 1 本, スギ 3 本

カワラハンノキは製紙用材 No. 8 区画, 大正 3 年植 (63 年生), 樹高 14.0 m, 胸高直径 34.0 cm, スギは建築用材 No. 26 区画, 明治 44 年植 (66 年生), 最大木樹高 15.5 m, 胸高直径 37.5 cm。

写真3 ヨーロッパアカマツ 2 本, ストローブマツ 5 本

ヨーロッパアカマツは建築用材 No. 7 区画, 明治 43 年植 (67 年生), 最大木樹高 13.7 m, 胸高直径 39.2 cm。ストローブマツは建築用材 No. 8 区画, 同年植え, 最大木樹高 17.6 m, 胸高直径 57.5 cm。

写真4 ヤチダモ 4 本

自然分類 No. 136 区画, 明治 44 年植 (66 年生), 最大木樹高 15.7 m, 胸高直径 36.7 cm。

写真5 ブナ 5 本

船舶用材 No. 12 区画, 明治 43 年植 (67 年生), 最大木樹高 16.8 m, 胸高直径 43.0 cm。

写真6 アカエゾマツ 2 本, ハリエンジュ 4 本, ヤチダモ 3 本

| 樹 種 | 分類と区画 | 最 大 木 | | |
|--------|------------|-------|-------|--------|
| | | 樹齡 | 樹高 | 胸高直径 |
| アカエゾマツ | 製紙用 No. 2 | 66年 | 14.2m | 37.5cm |
| ハリエンジュ | 土木用 No. 18 | 65 | 16.7 | 45.0 |
| ヤチダモ | 土木用 No. 17 | 66 | 17.5 | 40.0 |

写真7 ダケカンバ 5 本, シラカンバ 5 本

ダケカンバは自然分類 No. 38 区画, 明治 45 年植 (65 年生), 最大木は樹高 19.5 m, 胸高直径 38.5 cm。シラカンバは同分類 No. 37 区画, 大正 3 年植 (63 年生), 最大木は樹高 21.7 m, 胸高直径 42.5 cm。

写真8 トチノキ 4 本

器具用材 No. 38 区画, 明治 44 年植 (66 年生), 最大木樹高 15.7 m, 胸高直径 59.0 cm。

写真9 ケヤキ 1 本

船舶用材 No. 11 区画, 明治 44 年植 (66 年生), 樹高 15.7 m, 胸高直径 29.0 cm。

(3) 考 察

1) 樹木の残存と生長

北海道のすべての樹種を網羅し、さらに本州および諸外国の有用樹種も加えた大樹木園という当初の構想からは、程遠いのが現状で、当初計画の約 2 割が残存しているにすぎない。用地の転用によるやむをえない減少をのぞいてもなお、残存率は 5 割にすぎない。このような減少は、雑草木による被圧、病虫獣害、気象害などによる枯損のためと考えられるが、そのいずれによるものかまたいつ発生したものかについては全く記録がなく、現時点で推定することはできない。いずれにせよ、過去の管理不十分がこのよう

な結果をまねいたと考えざるを得ない。戦中戦後にはおそらく管理らしい管理はほとんど行われなかったであろう。開戦当時、樹木園の樹齢は20～32年であった。当時の樹高を図4の14樹種について推定してみると、おおよそ8～15m程度と考えられる。これらの樹種はイタヤカエデをのぞいて現在最大樹高15m以上の生長良好な樹種ばかりであるので、その他の樹種はこれを下まわり、消滅した樹種では5mにも達しないものが多かったのではないかと考えられる。

さらにさかのぼると、昭和2年の試験場庁舎移転後は従前のような日常の観察にもとづき、必要のつど保護を加えるといったいきとどいた管理は困難となったであろう。この時期に樹齢は6～18年にすぎず、樹高も2～3mに達していないものが多かったと推察される。このような時期に保育が不十分になったとすれば、多数の樹木の枯損が生じたとしても当然であり、低木類がほとんど全滅していることや、異郷土樹種と郷土樹種の残存率に差がないことなどは、このような管理不十分による枯損の結果と考えられる。

このような樹木園の成績は、北海道のような気候条件のきびしく、木の生長のおそい地域で樹木園を完成させることが決して容易な事業でないことを示しており、特に植栽以後のいきとどいた維持管理が欠くべからざるものであり、それが20年以上の長期にわたってつづけられなければならないことを示している。

残存樹木の生育は、樹種により大差があり、いちがいにはいえないが前述のように一部のものについての検討結果は、樹高生長の不良な傾向を示している。この原因はおそらく過湿な偽似グライという土壌条件によるものであろう。ここでみられた各樹種の樹高生長は偽似グライおよび類縁土壌における今後の造林等の参考になるであろう。

実験林の林木とくらべて<sup>樹高
直径</sup>が小さいが、これは孤立ないし疎立のため当然であって自然の樹形を呈示する樹木園の目的にかなうといえよう。複幹の存在は形態上の欠陥ではあるが分岐の位置が比較的きわめて低く、さほど問題にはならないと思われる。

2) 現樹木園の意義

現在の樹木園面積は当初の約半分強に縮小し残存樹種数は当初計画から大幅に減少しており、隣接する実験林には樹木園と共通の樹種からなる人工林が多いことなどから、この材木園の存在意義が薄いという考えもある。しかし、樹木園は見本林や実験林とは別個の意義をもつもので、現在共通樹種が多いことで樹木園の存在が否定されるものではない。さらに樹木園にのみ存在する樹種も10数種にのぼるうえ、表11に示した残存木の樹齢でも分るようにほとんどのものは65～67年生（昭和52年現在）という高齢のものである。

これほど多数の高齢人工植栽木をもつ植物園や見本林は北海道には他に存在しない。旭川管林局外国樹種見本林は有名であるが、明治時代の植栽は僅か4に樹種にすぎない¹⁵⁾。また北海道大学の植物園の高齢の樹木のうち人工植栽木は数種で、その植栽時期も明らかでない。このほかに、高齢

表11. 残存木の樹齢分布

| 植栽年 (年) | 樹齢* (年) | N (樹種数) | L (樹種数) | N・L 樹種数 | |
|------------|------------|------------|------------|------------|----|
| 明治 | 42 | 68 | | | |
| | 43 | 67 | 11 | 3 | 14 |
| | 44 | 66 | 7 | 7 | 14 |
| | 45 | 65 | 4 | 8 | 12 |
| 大正 | 2 | 64 | 1 | 2 | 3 |
| | 3 | 63 | | 3 | 2 |
| | 4 | 62 | 1 | 1 | 2 |
| | 5 | 61 | | | |
| | 6 | 60 | | | |
| 7 | 59 | | | | |
| 8 | 58 | | | | |
| 9 | 57 | | 2 | 2 | |
| 計 | | | 24 | 25 | 49 |

(注) * 1) 各樹種ごとの最高樹齢とした。
2) 植栽年を1年とした調査時（昭和52年5月）における樹齢。

人工植栽木としては、ガルトナーのブナ林や七飯の松並木、北海道大学ポプラ並木など各地に散在する名木美林が残っている⁶⁾。しかしこれらはいずれも単一の樹種で、それらすべてをあつめてもこの樹木園の樹種数には及ばない。また次の樹種は高齢植栽木として他に存在しない貴重なものである。

チョウセンゴヨウ、シベリヤカラマツ、オレゴンパイン、ヒノキアスナロ、イブキ、サワラ、トウヒ、ハシドイ、カツラ、サワグルミ、カラコギカエデ、トチノキ、ハリギリ、クロミノサンザシ、クロビイタヤ、ミツバウツギ、クロウメモドキ、ノルウェーカエデ等である。

この樹木園の周辺の森林 1,600 ha は道立自然公園に指定され、自然休養林、昭和の森として札幌市民をはじめ道民の休養と自然学習の場として利用されている。その一環として小規模ではあるが、比較的多数の樹種を 1 箇所で見学観察できる樹木園が整備されれば、その利用度はかなり高いことが予想される。

ゆえに、樹齢約 70 年 (49 種, 194 本) のこれら樹木は、先人の貴重な遺産として保護し、活用するのが適当であると考えられる。

あ と が き

樹木園として保存するとすれば、次のような管理が必要となろう。まず下刈りや道路の整備を行い観察を容易にする。この際、自然の樹形を呈し将来にわたって観察にたええと見込まれる灌木などは適宜残しておくのがよいと思われる。これらも含めてすべての樹種に標識板を設置し、樹種の和名、学名、アイヌ名、用途、原産地、植栽年月を記入する。当初計画では 1 区画 1 本を残す予定であったが、実行されず 1 区画に数本残存しているものも多い。これらのうちすでに長い年月を経て樹群として安定した状態にあるものは計画にこだわらずこのまま併立させてさしつかえない。被圧状態にあるもの、樹形の著しく不良なものは伐採する。また枯枝は切る。

樹木の欠除している区画には必要に応じて適当な樹種を補植するが、敷区画まとまって樹木のない空地はベンチなどをおいて休息場所にすることも考えられる。このような整備を行えば、この樹木園は十分利用価値の高いものになろうと考えられる。

引 用 文 献

- 1) 野幌林業試験場第 1 回事業報告：林業試験報告第 1 号，北海道庁拓殖部(野幌林業試験場)，(1911)
- 2) 松下勝秀：5 万分の 1 地質図幅説明書，江別，北海道立地下資源調査所，(1971)
- 3) 札幌管区林局：北海道石狩国野幌森林の植物学的研究，(1973)
- 4) 札幌管区気象台：北海道気象月報，昭 28～昭 52 年，
- 5) 農林省林業試験場北海道支場：野幌試験地気象観測資料 (1953～1968)，(1972)
- 6) 北海道林業試験場：野幌国有林植物調査書，(1920)
- 7) 大井次三郎：日本植物誌，至文堂，(1975)
- 8) REHDER：Manual of Cultivated Trees and Shrubs，(1958)
- 9) 鈴木貞雄：日本竹科植物総目録，学習研究社，(1978)
- 10) 北海道林業改良普及協会：北海道主要造林樹種，収穫表と成長量に関する資料，I，(1976)
- 11) —————：同上，II，(1977)
- 12) 松井善喜ほか 6 名：野幌試験林における各種人工林の調査成績，林試研報，205，(1967)
- 13) 森林計画研究会北海道林務部支部：北海道の主要樹種，林分収穫表，(1960)
- 14) 林野庁・林業試験場：木曾地方ヒノキ林分収穫表，(1950)
- 15) 旭川管区林局：外国樹種見本林，(1967)
- 16) 北海道緑化推進委員会：北海道百年記念・北海道の名木美林，(1968)

付表. 自然分類

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 昭28 | | 昭 52 | |
|---------|-------------------------|----------------------|--|----|------------|-------------|-----|-----------|-------|-------|----|------|-----------|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 自 然 分 類 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | イ チ イ Taxaceae | イ チ イ 属 (イ チ イ 属) | <i>Taxus cuspidata</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | | | 5 | |
| 2 | イヌガヤ Cephalotaxaceae | イヌガヤ 属 (イヌガヤ 属) | <i>Cephalotaxus harringtonia</i> (KNIGHT) K. KOCH | 6 | " | " | 1 | 大 9. 5 | | | | 3 | |
| 3 | マ ツ Pinaceae | シベリヤカラマツ (カラマツ 属) | <i>Larix sibirica</i> LEDEB. | 6 | 明 45. 5 | 紗那営林区 分署 | | | | | | 3 | |
| 4 | " | ダフリカカラマツ (") | <i>Larix dahurica</i> var. <i>japonica</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | | | 4 | |
| 5 | " | ヒメコマツ (マ ツ 属) | <i>Pinus parviflora</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 43. 4 | 小樽苗畑 | | | | | | 6 | 6 写真 1 |
| 6 | " | キタゴヨウ (") | <i>Pinus parviflora</i> Sieb. et Zucc. var. <i>Pentaphylla</i> (MAYR) HENRY | 4 | 大 3. 4 | 口高国様似 | | | | | | 1 | 伐 |
| 7 | " | チョウセンゴヨウ (") | <i>Pinus koraiensis</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 43. 4 | 小樽苗畑 | | | | | | 6 | 1 |
| 8 | " | ハイマツ (") | <i>Pinus pumilla</i> (PALLAS) REGEL | 12 | 明 44. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | | | 5 | 伐 |
| 9 | " | エゾマツ (トウヒ 属) | <i>Picea jezcensis</i> (Sieb. et Zucc.) CARR. | 3 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 3 | 大 2. 5 | 野幌国有林 | | | 6 | 伐 |
| 10 | " | アカエゾマツ (") | <i>Picea glehnii</i> (Fr. Schm.) Mast. | 6 | 明 44. 5 | 上川営林区 署 | | | | | | 4 | 2 |
| 11 | " | アカトドマツ (モミ 属) | <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast. | 6 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | | | | | | 6 | 2 |
| 12 | " | エゾシラビン (") | <i>Abies sachalinensis</i> (Fr. Schm.) Mast var. <i>nemorensis</i> MAYR | 5 | 大 2. 4 | 根室営林区 分署 | | | | | | 2 | 伐 |
| 13 | ヒノキ Cupressaceae | ヒノキアスナロ (アスナロ 属) | <i>Thujaopsis dolabrata</i> (Linn. fil.) Sieb. et Zucc. var. <i>Hondae</i> MAKINO | 6 | 明 43. 5 | 野幌林業試 験場 | | | | | | 4 | 2 |
| 14 | " | イブキ (ビャクシン 属) | <i>Juniperus chinensis</i> Linn. | 2 | 明 45. 5 | 不 明 | | | | | | 2 | |
| 15 | " | ネズ (") | <i>Juniperus rigida</i> Sieb. et Zucc. | 2 | " | 不 明 | | | | | | 0 | |

野幌林業試験場樹木園の造成経過と現状分析 (研究資料) (苗木)

付表. 自然分類(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|----|-----------------------|--------------------------|--|----|----------|----------------|-----|---------|---------------|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 16 | ヒ ノ キ Cupressaceae | リシリビャクシン (ビャクシン属) | <i>Juniperus communis</i> LINN. var. <i>montana</i> AIT. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 17 | " | ハ イ ネ ズ (") | <i>Juniperus conferta</i> PARLAT. | 3 | 大 3. 4 | 不 明 | | | | 0 | | | |
| 18 | イ ネ Gramineae | ス ズ (サ サ 属) | <i>Sasa borealis</i> (HACK.) MAKINO | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 19 | " | チ シ マ ザ サ (") | <i>Sasa kurirensis</i> (RUPR.) MAKINO et SHIBATA | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 5 | | | |
| 20 | " | シ コ タ ン ザ サ (") | <i>Sasa yahikoensis</i> MAKINO var. <i>depauperata</i> (TAKEDA) S. SUZUKI | 2 | 大 3. 6 | 根室営林区 分署 | | | | 1 | | | |
| 21 | ク ル ミ Juglandaceae | サ ワ グ ル ミ (サワグルミ属) | <i>Pterocarya rhoifolia</i> SIEB. et ZUCC. | 1 | 明 45. 6 | 東北帝大農 科大学より | 2 | 大 9. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | 1 | | 3 | |
| 22 | " | オ ニ グ ル ミ (ク ル ミ 属) | <i>Juglans ailanthifolia</i> CARR. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 23 | ヤ ナ ギ Salicaceae | オ オ バ ヤ ナ ギ (オオバヤナギ属) | <i>Toisus urbania</i> (SEEMEN) KIMURA | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 24 | " | バ ツ コ ヤ ナ ギ (ヤ ナ ギ 属) | <i>Salix bakko</i> KIMURA | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 25 | " | キ ヌ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix kinujanagi</i> KIMURA | 1 | 明 43. 10 | " | 1 | 明 44. 5 | | 2 | 伐 | | |
| 26 | " | ナ ガ バ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix stepularis</i> SM. | 6 | 明 43. 5 | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 27 | " | ジ ャ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix eriocarpa</i> FRANCH. et SAVAT. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 28 | " | エ ゾ カ ワ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix miyabeana</i> SEEMEN | | " | — | — | — | — | — | — | — | |
| " | " | ノ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix subopposita</i> MIQUEL | | " | — | — | — | — | — | — | — | |
| 29 | " | ミ ヤ マ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix reinii</i> FRANCH. et SAVAT. | | " | — | — | — | — | — | — | — | |
| " | " | エ ゾ ヤ ナ ギ (") | <i>Salix rorida</i> LACKSCHEWITZ | 2 | 明 44. 5 | 後志国えぞ 富士 | | | | 0 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------|--------------------|---|----|------------|-------------|---|-----------|------------|---|-----------|
| 30 | " | コリヤナギ (") | <i>Salix koriyanagi</i> KIMURA | 6 | 明 43. 5 | 野幌固有林 | | | | 3 | |
| " | " | イヌコリヤナギ (") | <i>Salix integra</i> THUNB. | | 未 植 | — | — | " | — | — | — |
| 31 | " | ドロヤナギ (ハコヤナギ属) | <i>Populus maximowiczii</i> HENRY | 6 | 明 44. 5 | 野幌固有林 | 1 | 大9. 5 | 野幌固有林 | 1 | |
| 32 | " | ヤマナラシ (") | <i>Populus sieboldii</i> MIQ. | 6 | " | " | 1 | " | | 1 | |
| 33 | カバノキ Betulaceae | サワシバ (クマシデ属) | <i>Carpinus cordata</i> BLUME | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 3 | |
| 34 | " | アカシデ (") | <i>Carpinus laxifolia</i> (SIEB. et ZUCC.) BLUME | 2 | 大 8. 5 | 苫小牧演習 林 | | | | 0 | |
| 35 | " | アサダ (アサダ属) | <i>Ostrya japonica</i> SARG. | 6 | 明 45. 5 | 野幌固有林 | 1 | 大4. 5 | 野幌固有林 | 2 | |
| 36 | " | ウダイカンバ (カバノキ属) | <i>Betula maximowicziana</i> REGEL | 6 | 大 3. 5 | " | | | | 4 | 2 |
| 37 | " | シラカンバ (") | <i>Betula platyphylla</i> SUKATCHEV var. <i>japonica</i> (MIQ.) HARA | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | 5 写真 7 |
| 38 | " | ダケカンバ (") | <i>Betula ermanii</i> CHAM. | 6 | 明 45. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | 6 | 5 写真 7 |
| 39 | " | カワラハンノキ (ハンノキ属) | <i>Alnus serrulatoides</i> CALLIER | 3 | " | 野幌固有林 | 3 | 大2.10 | 野幌固有林 | 5 | 2 |
| 40 | " | ヤマハンノキ (") | <i>Alnus hirsuta</i> TURCZ. var. <i>sibirica</i> (FISCHER) C. K. SCHN. | 6 | " | " | | | | 2 | 1 |
| 41 | " | ケヤマハンノキ (") | <i>Alnus hirsuta</i> TURCZ. | 12 | 大 3. 4 | 根室営林区 分署 | 1 | 大 9. 4 | | 0 | |
| 42 | " | ヤハズハンノキ (") | <i>Alnus matsumurae</i> CALLIER | | 未 植 | — | — | — | — | — | — |
| 43 | " | ミヤマハンノキ (") | <i>Alnus maximowiczii</i> CALLIER | 6 | 明 45. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | 6 | 伐 |
| 44 | " | ツノハシバミ (ハシバミ属) | <i>Corylus sieboldiana</i> BLUME | 3 | 明 44. 5 | 後志国えぞ 富士 | | | | 1 | 伐 |
| 45 | ブ ナ Fagaceae | ブナ (ブナ属) | <i>Fagus crenata</i> BLUME | 1 | 大 2.11 | 函館区金浜 花園 | 4 | 大 9. 5 | | 1 | 5 |
| 46 | " | クリ (クリ属) | <i>Castanea crenata</i> SIEB. et ZUCC. | 5 | 明 42.12 | 野幌固有林 | | | | 4 | 伐 |
| 47 | " | カシワ (コナラ属) | <i>Quercus dentata</i> THUNB. | 12 | 明 45. 5 | 石狩国白石 村 | 3 | 大 2.11 | 石狩国白石 村 | 1 | 伐 |

付表. 自然分類(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|----|--------------------------|---------------------|--|----|------------|------------|-----|----------------|-----------|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 48 | ブ ナ Fagaceae | ミズナラ (コナラ属) | <i>Quercus mongolica</i> FISCH. var. <i>grosse-serrata</i> (BLUME) REHD. et WILS. | 6 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 49 | " | ミズナラ (") | " | 6 | " | 野幌国有林 | | | | 3 | 伐 | | |
| 50 | " | コナラ (") | <i>Quercus serrata</i> THUNB. | 6 | " | 野幌林業試験場苗畑 | 1 | 大 2. 11 | 野幌林業試験場苗畑 | 5 | 伐 | | |
| 51 | ニ レ (Ulmaceae) | ハルニレ (ニレ属) | <i>Ulmus davidiana</i> PLANCH. var. <i>japonica</i> (REHD.) NAKAI | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 52 | " | オヒョウ (") | <i>Ulmus laciniata</i> (TRAUTV.) MAYR | 6 | " | " | | | | 4 | 伐 | | |
| 53 | " | マルバニレ (") | <i>Ulmus montana</i> SM. var. <i>japonica</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | 4 | 伐 | | |
| 54 | " | エゾエノキ (エノキ属) | <i>Celtis jessoensis</i> Koidz. | 2 | 大 5. 5 | 野幌林業試験場苗畑 | | | | 0 | | | |
| 55 | ク ワ Moraceae | トウグワ (クワ属) | <i>Morus alba</i> LINN. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 5 | 伐 | | |
| 56 | モクレン Magnoliaceae | コブシ (モクレン属) | <i>Magnolia kobus</i> DC. | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | 伐 | | |
| " | " | チョウセンゴミシ (マツブサ属) | <i>Schisandra chinensis</i> (TURCZ.) BAIJL. | 3 | 大 10. 4 | " | | | | 0 | | | |
| 57 | " | ホオノキ (モクレン属) | <i>Magnolia obovata</i> THUNBERG | 6 | 明 43. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | 4 | | | |
| " | " | ウラジロマツブサ (マツブサ属) | <i>Schisandra repanda</i> (SIEB. et ZUCC.) RADLK. forma <i>hypoleuca</i> (MAKINO) DHWI | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 58 | クスノキ Lauraceae | クロモジ (クロモジ属) | <i>Lindra umbellata</i> THUNB. | 1 | 明 45. 6 | 札幌区松井花園 | | | | 1 | | | |
| 59 | カツラ Cercidiphyllaceae | カツラ (カツラ属) | <i>Cercidiphyllum japonicum</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大5. 5 大9. 5 | 野幌国有林 | 2 | | | |
| 60 | " | ヒカツラ (") | " | 6 | " | " | | | | 4 | | 1 | |
| 61 | メ ギ Berberidaceae | ヒロハヘビノボラズ (メギ属) | <i>Berberis amurensis</i> RUPR. var. <i>japonica</i> (REGEL) REHD. | 1 | 大 5. 4 | 東北帝大農科大学より | | | | 0 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|------------------------|---------------------|--|------------|-------------|-------|---|---|---|---|
| 62 | " | (ヘビノボラズ) | <i>Berberis sieboldii</i> MIQ. | 未植 | — | — | — | — | — | — |
| 63 | ユキノシタ Saxifragaceae | (ノリウツギ (アサカ) | <i>Hydrangea paniculata</i> SIEB. | 6 明 43. 5 | 野幌国有林 | — | — | 4 | — | — |
| 64 | " | (ゴトウズル) | <i>Hydrangea petiolaris</i> SIEB. et ZUCC. | 4 明 44. 5 | " | 野幌国有林 | — | 4 | — | — |
| 65 | " | (イワガラミ (イワガラミ属) | <i>Schizophragma hydrangeoides</i> SIEB. et ZUCC. | 6 " | " | " | — | 1 | — | — |
| 66 | " | (エゾダスリ (エゾダスリ属) | <i>Ribes latifolium</i> JANCZ. | 6 " | 後志国えぞ 富士 | — | — | 4 | — | — |
| " | ヤマモモ Myricaceae | (ヤチヤチ (ヤマモモ属) | <i>Myrica gale</i> LINN. var. <i>tomentosa</i> C. DC. | 未植 | — | — | — | — | — | — |
| 67 | マンスク Hamamelidaceae | (マンスク (マンスク属) | <i>Hamamelis japonica</i> SIEB. et ZUCC. | 4 明 45. 6 | 札幌区松井 花園 | — | — | 1 | — | — |
| 68 | バ (Rosaceae) | (エゾシモツケ (シモツケ属) | <i>Spiraea media</i> SCHMIDT var. <i>serica</i> (TURCZ.) REGEL | 未植 | — | — | — | — | — | — |
| " | " | (マルバシモツケ (シモツケ属) | <i>Spiraea betulifolia</i> PALL | 3 大 8. 5 | 苫小牧演習 林 | — | — | 0 | — | — |
| 69 | " | (アイズシモツケ (シモツケ属) | <i>Spiraea chamaedryfolia</i> LINN. var. <i>pitosa</i> (NAKAI) HARA | 未植 | — | — | — | — | — | — |
| " | " | (ホザキシモツケ (シモツケ属) | <i>Spiraea salicifolia</i> LINN. | 6 明 44. 5 | 後志国えぞ 富士 | — | — | 6 | — | — |
| 70 | " | (ズンゴ (リソゴ属) | <i>Malus sieboldii</i> (REGEL) REHDER | 1 大 8. 5 | 苫小牧演習 林 | — | — | 6 | — | — |
| 71 | " | (アズキナ (ナナカマド属) | <i>Sorbus alnifolia</i> (SIEB. et ZUCC.) C. KOCH | 6 " | 野幌国有林 | — | — | 6 | 伐 | — |
| 72 | " | (ナナカマド (ナナカマド属) | <i>Sorbus commixta</i> HEDL. | 6 明 43. 5 | " | — | — | 6 | 伐 | — |
| 73 | " | (タカネナ (ナナカマド属) | <i>Sorbus sambucifolia</i> (CHAM. et SCHLTDL.) ROEM. | 6 明 44. 5 | 後志国えぞ 富士 | — | — | 3 | 伐 | — |
| 74 | " | (クロミサン (サンザシ属) | <i>Crataegus chlorosarca</i> MAXIM. | 2 大 9. 5 | — | — | — | 0 | — | 2 |
| 75 | " | (ワタゲカ (カマツカ属) | <i>Pourthiaea villosa</i> (THUNB.) DECNE | 4 大 10. 4 | 野幌国有林 | — | — | — | — | — |
| 76 | " | (エヒカラ (キイチゴ属) | <i>Rubus phoenicolasius</i> MAXIM. | 2 明 43. 9 | " | — | — | 2 | 伐 | — |
| " | " | (エゾイチ (キイチゴ属) | <i>Rubus idaeus</i> LINN. var. <i>acutatifissimus</i> REGEL et TILING | 6 明 43. 11 | 北海道社 | — | — | 6 | 伐 | — |

付表. 自然分類(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | | | | |
|----|--------------------|---------------------|---|-----|-------------|----------------|-----|-------------|-------------|----|----|----|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 木数 | 年 月 | 苗 木 | 木数 | 年 月 | 摘 要 | 木数 | 伐否 | 木数 | 摘要 |
| 77 | バ Rosaceae | ゴヨウイチゴ (キドイチゴ属) | <i>Rubus ikenoensis</i> LEV. et VAN. | 2 | 明 43. 11 | 野幌国有林 | | | | 2 | 伐 | | |
| " | " | クマイチゴ (") | <i>Rubus crataegifolius</i> BUNGE | 6 | " | 北海道庁より | | | | 4 | 伐 | | |
| 78 | " | ハマナス (バラ属) | <i>Rosa rugosa</i> THUNB. | 3 | 明 42. 5 | 後志国余市 村 | 6 | 明 43. 11 | 函館区金浜 花園 | 4 | 伐 | | |
| 79 | " | コハマナス (") | <i>Rosa acicularis</i> LINDL. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| " | " | ノイバラ (") | <i>Rosa multiflora</i> THUNB. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 80 | " | シウリザクラ (サクラ属) | <i>Prunus ssiori</i> FR. SCHM. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 6 | 伐 | | |
| 81 | " | ウワミズザクラ (") | <i>Prunus grayana</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 82 | " | エゾノウワミズザクラ (") | <i>Prunus padus</i> LINN. | 1 | 大 2. 11 | 上川管林区 署 | | | | 1 | 伐 | | |
| 83 | " | ミヤマザクラ (") | <i>Prunus maximowiczii</i> RUPR. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 84 | " | チョウジザクラ (") | <i>Prunus apetala</i> (SIEB. et ZUCC.) FRANCH. et SAVAT. | 3 | " | 後志国えぞ 富士 | | | | 3 | 伐 | | |
| 85 | マ Leguminosa | イヌエンジュ (イヌエンジュ属) | <i>Maackia amurensis</i> RUPR. et MAXIM. var. <i>buengeri</i> (MAXIM.) C. K. SCHN. | 2 | " | 野幌国有林 | 3 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | 5 | | | |
| 86 | " | エゾヤマハギ (ハギ属) | <i>Lespedeza bicolor</i> TURCZ. | 6 | " | 札幌郡白石 村 | | | | 6 | | | |
| 87 | ミ Rutaceae | キハダ (キハダ属) | <i>Phellodendron amurense</i> RUPR. | 6 | " | 野幌国有林 | | | | 6 | | | |
| 88 | " | サンショウ (サンショウ属) | <i>Zanthoxylum piperitum</i> (LINN.) DC. | 2 | 大 2. 11 | 東北帝大農 科大学より | | | | 2 | | | |
| " | " | ミヤマシキミ (ミヤマシキミ属) | <i>Skimmia japonica</i> THUNB. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 9. 5 | | 0 | | | |
| 89 | ニ Simaroubaceae | ニガキ (ニガキ属) | <i>Picrasma quassioides</i> (D. DON) BENN. | 6 | " | " | | | | 6 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|-----------------------|---|---|------------|-------------|--------|----------------|------------|---|---|
| 90 | トウダイグサ Euphorbiaceae | ヒメユズリハ (ユズリハ属) | <i>Daphniphyllum teijsmannii</i> ZOLL. | 6 | 明 45. 5 | " | 1 | 大 9. 5 | | | 0 |
| " | ドクウツギ Coriariaceae | ドクウツギ (ドクウツギ属) | <i>Coriaria japonica</i> A. GRAY | 2 | 大 4. 10 | 上川管林区 署 | | | | | 0 |
| 91 | ウルシ Anacardiaceae | ヤマウルシ (ウルシ属) | <i>Rhus trichocarpa</i> MIQ. | 1 | 大 3. 9 | 後志国余市 村 | | | | | 1 |
| 92 | " | ヌルデ (") | <i>Rhus javanica</i> LINN. | 6 | 明 43. 5 | " | | | | | 1 |
| 93 | " | ツタウルシ (") | <i>Rhus ambigua</i> LAVALLÉE, ex DIPPEL | 6 | " | 野幌国有林 | 2 1 | 大9. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | | 5 |
| 94 | モチノキ Aquifoliaceae | イヌツゲ (モチノキ属) | <i>Ilex crenata</i> THUNB. | 4 | 明 45. 5 | " | | | | | 3 |
| " | " | アカミノイヌツゲ (") | <i>Ilex sugerokii</i> MAXIM. var. <i>brevi- pedunculata</i> (MAXIM.) S. Y. HU | 3 | 明 43. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | | 1 |
| 95 | " | ヒメモチ (") | <i>Ilex leucoclada</i> (MAXIM.) MAKINO | | 未植 | — | — | — | — | — | — |
| " | " | ツルツゲ (") | <i>Ilex rugosa</i> FR. SCHM. | 1 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | | | | | 1 |
| 96 | " | アオハダ (") | <i>Ilex macropoda</i> MIQ. | 4 | 大 3. 4 | 日高国様似 | 3 | 大 8. 5 | 苫小牧演習 林 | | 0 |
| 97 | ニシキギ Celastraceae | ニシキギ (ニシキギ属) | <i>Euonymus alatus</i> (THUNB.) SIEB. | 1 | 明 45. 5 | 札幌区松井 花園 | | | | | 1 |
| " | " | コマユミ (") | <i>Euonymus alatus</i> (THUNB.) SIEB. forma <i>ciliatodentatus</i> (FRANCH. et SAVAT.) HIYAMA | 1 | " | 野幌国有林 | | | | | 1 |
| 98 | " | マユミ (") | <i>Euonymus sieboldianus</i> BLUME | 6 | 大 2. 5 | " | | | | | 6 |
| 99 | " | ツリバナ (") | <i>Euonymus oxyphyllus</i> MIQ. | 6 | " | " | 2 | 大 2. 10 | 野幌国有林 | | 1 |
| 100 | " | クロツリバナ (") | <i>Euonymus tricarplus</i> KOIDZ. | 1 | " | " | 3 | 大 3. 5 | " | | 4 |
| " | " | ツルマサキ (") | <i>Euonymus fortunei</i> (TURCZ.) HAND.- MAZZ. var. <i>radicans</i> (SIEB. ex MIQ.) REHD. | 1 | " | " | | | | | 0 |
| 101 | " | ヒロハツリバナ (") | <i>Euonymus macropterus</i> RUPR. | 6 | " | " | | | | | 1 |
| 102 | " | ツルウメモドキ (ツルウメモドキ属) | <i>Celastrus orbiculatus</i> THUNB. | 6 | 明 43. 9 | " | | | | | 4 |
| 103 | " | クロウメモドキ (クロウメモドキ属) | <i>Rhamnus japonica</i> MAXIM. | 6 | 明 43. 5 | 後志国余市 村 | 1 | 大 2. 10 | 野幌国有林 | | 3 |

付表. 自然分類(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 昭 28 | | 昭 52 | |
|-----|--------------------------|---------------------|---|----|------------|---------------|-----|----------------|-------|----------|----|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 104 | ミツバウツギ Staphyleaceae | ミツバウツギ (ミツバウツギ属) | <i>Staphylea bumalda</i> (THUNB.) DC. | 6 | 大 4. 4 | 野幌国有林 | | | | 6 | | 1 | |
| 105 | カエデ Aceraceae | イタヤカエデ (カエデ属) | <i>Acer mono</i> MAXIM. | 6 | 明 44. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | | 1 | |
| 106 | " | " | " | 6 | " | " | | | | 6 | | 3 | |
| 107 | " | クロビイタヤ (") | <i>Acer miyabei</i> MAXIM. | 1 | " | " | | | | 1 | | 1 | |
| 108 | " | ハウチワカエデ (") | <i>Acer japonicum</i> THUNB. | 6 | 明 43. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | | | |
| 109 | " | イロハモミジ (") | <i>Acer palmatum</i> THUNB. var. <i>palmatum</i> | 1 | 明 45. 5 | " | 4 | 大2. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 5 | 伐 | | |
| 110 | " | オガラバナ (") | <i>Acer urkurunduense</i> TRAUTV. et MEY. | 3 | 明 43. 5 | 後志国えぞ 富士 | | | | 3 | 伐 | | |
| 111 | " | カラコギカエデ (") | <i>Acer ginnala</i> MAXIM. | 3 | 大 5. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | 6 | 大 9. 5 | | 0 | | 6 | |
| 112 | " | ミツデカエデ (") | <i>Acer cissifolium</i> (SIEB. et ZUCC.) K. KOCH | 4 | 大 3. 9 | 日高国様似 | | | | 3 | 伐 | | |
| 113 | トチノキ Hippocastanaceae | トチノキ (トチノキ属) | <i>Aesculus turbinata</i> BLUME | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 5 | 伐 | | |
| 114 | ブドウ Vitaceae | ヤマブドウ (ブドウ属) | <i>Vitis coignetiae</i> PULLIAT | 6 | " | 野幌国有林 | | | | 4 | 伐 | | |
| 115 | シナノキ Tiliaceae | シナノキ (シナノキ属) | <i>Tilia japonica</i> (MIQ.) SIMONKAE | 6 | 明 43. 5 | " | | | | 5 | 伐 | | |
| 116 | " | オオバボダイジュ (") | <i>Tilia maximowicziana</i> SHIRASAWA | 4 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 3 | 伐 | | |
| 117 | マタタビ Actinidiaceae | サルナシ (マタタビ属) | <i>Actinidia arguta</i> (SIEB. et ZUCC.) PLUNCH. et MIQ. | 6 | " | " | | | | 5 | 伐 | | |
| 118 | " | マタタビ (") | <i>Actinidia polygama</i> (SIEB. et ZUCC.) MAXIM. | 6 | " | " | | | | 5 | 伐 | | |
| 119 | " | ミヤママタビ (") | <i>Actinidia kolomikta</i> (RUPR. et MAXIM.) MAXIM. | 5 | 大 10. 4 | " | | | | 0 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|------------------------------------|--|---|------------|-------------|---|-----------------|--------------|---|-----------|
| 120 | キ ブ シ Stachyuraceae | キ ブ シ 属 (キ ブ シ 属) | <i>Stachyurus praecox</i> SIEB. et ZUCC. | 1 | 明 45. 6 | 札幌区松井 花園 | | | | 1 | 伐 |
| 121 | グ ミ Elaeagnaceae | ア キ グ ミ 属 (グ ミ 属) | <i>Elaeagnus umbellata</i> THUNB. | 1 | 明 44. 5 | 札幌郡白石 村 | | | | 1 | 伐 |
| 122 | ウ コ ギ Araliaceae | タ ラ ノ キ 属 (タ ラ ノ キ 属) | <i>Aralia elata</i> (MIQ.) SEEMANN | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 2 | 大 9. 5 | 野幌国有林 | 5 | 伐 |
| 123 | " | ケ ヤ マ ウ コ ギ 属 (ウ コ ギ 属) | <i>Acanthopanax divaricatus</i> (SIEB. et ZUCC.) SEEMANN | 6 | " | " | | | | 5 | 伐 |
| 124 | " | コ シ ア ブ ラ 属 (" 属) | <i>Acanthopanax sciadophylloides</i> FRANCH. | 6 | 明 45. 5 | " | | | | 2 | 伐 |
| 125 | " | ハ リ ギ リ 属 (ハ リ ギ リ 属) | <i>Kalopanax pictus</i> (THUNB.) NAKAI | 1 | " | " | 1 | 大5. 5 大4. 5 | 野幌国有林 | 3 | 伐 |
| 126 | " | " | " | 1 | " | " | 1 | 大2. 10 大5. 5 | " | 2 | 伐 |
| 127 | ウ リ ノ キ Alangiaceae | ウ リ ノ キ 属 (ウ リ ノ キ 属) | <i>Alangium plataniifolium</i> (SIEB. et ZUCC.) HARMS var. <i>trilobum</i> (MIQ.) OHWI | 2 | 明 43. 5 | " | 4 | 大 4. 5 | 札幌郡広島 国有林 | 4 | 伐 |
| 128 | ミ ズ キ Cornaceae | ミ ズ キ 属 (ミ ズ キ 属) | <i>Cornus controversa</i> HEMLEY | 1 | 明 45. 5 | " | 3 | 大 2. 5 | 野幌国有林 | 4 | 伐 |
| 129 | " | ハ ナ イ カ ダ 属 (ハ ナ イ カ ダ 属) | <i>Helwingia japonica</i> (THUNB.) F. G. DIETR. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — |
| 130 | " | ア オ キ 属 (ア オ キ 属) | <i>Aucuba japonica</i> THUNB. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — |
| 131 | リ ヨ ウ ブ Clethraceae | リ ヨ ウ ブ 属 (リ ヨ ウ ブ 属) | <i>Clethra barvincrvis</i> SIEB. et ZUCC. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — |
| 132 | ハ イ ノ キ Symplocaceae | サ ワ フ タ ギ 属 (ハ イ ノ キ 属) | <i>Symplocos crataegeoides</i> HAMILT. | 1 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | | | | 1 | 伐 |
| 133 | エ ゴ ノ キ Styracaceae | エ ゴ ノ キ 属 (エ ゴ ノ キ 属) | <i>Styrax japonica</i> SIEB. et ZUCC. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — |
| 134 | " | ハ ク ウ ン ボ ク 属 (" 属) | <i>Styrax obassia</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 3 | |
| 135 | モ ク セ イ Oleaceae | ア オ ダ モ 属 (ト ネ リ コ 属) | <i>Fraxinus lanuginosa</i> KOIDZ. | 6 | 明 44. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | |
| 136 | " | ヤ チ ダ モ 属 (" 属) | <i>Fraxinus mandschurica</i> RUPR. var. <i>japonica</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | 6 | 4 写真 4 |
| 137 | " | ハ シ ド イ 属 (ハ シ ド イ 属) | <i>Syringa reticulata</i> (BLUME) HARA | 6 | " | " | | | | 6 | |
| 138 | " | オ オ バ イ ボ タ ノ キ 属 (イ ボ タ ノ キ 属) | <i>Ligustrum ovalifolium</i> HASSK. | 6 | " | " | | | | 6 | |

付 表. 自然分類・高山植物 (つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|---------|-------------------------|-------------------------|---|----|------------|----------------|--------|----------------|-------|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 139 | クマツヅラ Verbenaceae | ムラサキシキブ (ムラサキシキブ属) | <i>Callicarpa japonica</i> THUNB. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| " | " | クササギ (クササギ属) | <i>Cleodendrum trichotomum</i> THUNB. | 6 | 明 44. 5 | 後志国余市 産 | | | | 6 | | | |
| 140 | スイカズラ Caprifoliaceae | ニワトコ (ニワトコ属) | <i>Sambucus sieboldiana</i> BLUME, ex GRAEBN. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| " | " | エゾニワトコ (") | <i>Sambucus racemosa</i> var. <i>pubescens</i> SCHWERIN non DIPPPEL | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | | | |
| 141 | " | ガマズミ (ガマズミ属) | <i>Viburnum dilatatum</i> THUNB. | 3 | 大 8. 5 | 苫小牧演習 林 | | | | 0 | | | |
| " | " | ミヤマガマズミ (") | <i>Viburnum wrightii</i> MIQ. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 0 | | | |
| 142 | " | カンボク (") | <i>Viburnum opulus</i> LINN. var. <i>calvescens</i> (REHD.) HARA | 1 | " | " | | | | 1 | | | |
| " | " | オオカメノキ (") | <i>Viburnum furcatum</i> BLUME | 6 | " | " | 1 1 | 大2.10 大5. 5 | 野幌国有林 | 0 | | | |
| 143 | " | クロミノウゲイ スカグラ(スイカズラ属) | <i>Lonicera emphyllcalyx</i> (MAXIM.) REHD. | 2 | 大 3. 4 | 東北帝大農 科大学より | | | | 1 | | | |
| " | " | キンギンボク (") | <i>Lonicera morrowii</i> A. GRAY | 1 | 大 3.10 | 北海道社 | | | | 1 | | | |
| 144 | " | エゾヒョウタンボク (") | <i>Lonicera alpigena</i> LINN. var. <i>glehnii</i> (FR. SCHM.) NAKAI | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| " | " | ネムロブシダマ (") | <i>Lonicera chrysantha</i> TURCZ. | 2 | 大 4. 4 | 根室管林区 分署 | | | | 2 | | | |
| " | " | タニウツギ (タニウツギ属) | <i>Weigera hortensis</i> (SIEB. et ZUCC.) K. KOCH | 1 | " | 東北帝大農 科大学より | | | | 1 | | | |
| 高 山 植 物 | | | | | | | | | | | | | |
| 146 | バラ Rosaceae | キンロバイ (キジムシロ属) | <i>Potentilla fruticosa</i> LINN. | 1 | 明 45. 5 | 札幌区松井 花園 | | | | 1 | | | |
| 147 | ガンコウラン Empetraceae | ガンコウラン (ガンコウラン属) | <i>Empetrum nigrum</i> LINN. var. <i>japonicum</i> K. KOCH | 6 | 明 44. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | 2 | | | |

付表. 高山植物・建築用材(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|---------|--------------------|-------------------------|--|----|------------|---------------|-----|-----|-----|-----|------|------|---------|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 167 | ツ ツ ジ Ericaceae | キバナシャクナゲ (ツ ツ ジ 属) | <i>Rhododendron aureum</i> GEORGI | 6 | 明 44. 5 | 後志国ニセ コ岳 | | | | 3 | | | |
| 168 | " | サツキツツジ (") | <i>Rhododendron indicum</i> (LINN.) SWEET | 1 | " | " | | | | 1 | | | |
| 169 | " | ムラサキヤシオ (") | <i>Rhododendron albrechtii</i> MAXIM. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | |
| 170 | " | コヨウラクツツジ (ヨウラクツツジ属) | <i>Menziesia pentandra</i> MAXIM. | | " | — | — | — | — | — | — | — | |
| 171 | " | ウスギヨウラク (") | <i>Menziesia ciliicalyx</i> (MIQ.) MAXIM. | | " | — | — | — | — | — | — | — | |
| 建 築 用 材 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | イ チ イ Taxaceae | イ チ イ (イ チ イ 属) | <i>Taxus cuspidata</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | | | |
| 2 | マ ツ Pinaceae | シベリヤカラマツ (カ ラ マ ツ 属) | <i>Larix sibirica</i> LEDEB. | 4 | 明 44. 5 | 紗那営林区 分署 | | | | 4 | | | |
| 3 | " | ニホンカラマツ (") | <i>Larix leptolepis</i> (SIEB. et ZUCC.) GORDON | 6 | 明 43. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 6 | | 1 | |
| 4 | " | ヒメコマツ (マ ツ 属) | <i>Pinus parviflora</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | 小樽苗畑 | | | | 6 | | 4 | |
| 5 | " | ク ロ マ ツ (") | <i>Pinus thunbergii</i> PALLAT | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 2 | | | |
| 6 | " | ア カ マ ツ (") | <i>Pinus densiflora</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | " | | | | 5 | | 1 | |
| 7 | " | ヨーロッパアカマツ (") | <i>Pinus sylvestris</i> LINN. | 6 | 明 43. 5 | 小樽苗畑 | | | | 6 | | 2 | 写真 3 |
| 8 | " | ストロブマツ (") | <i>Pinus strobus</i> LINN. | 6 | " | " | | | | 6 | | 5 | 写真 3 |
| 9 | " | リギダマツ (") | <i>Pinus rigida</i> ARNOLD | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 6 | | 1 | |
| 10 | " | ヨーロッパクロマツ (") | <i>Pinus nigra</i> ARNOLD | 6 | " | 小樽苗畑 | | | | 6 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------|--------------------|--|---|------------|---------------|---|-----------|---------------|---|---|---|---------|
| 11 | " | エゾマツ (トウヒ属) | <i>Picea jezcensis</i> (SIEB. et ZUCC.) CARR. | 1 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 5 | 大 2. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | 6 | | 3 | |
| 12 | " | アカエゾマツ (") | <i>Picea glehnii</i> (FR. SCHM.) MAST. | 6 | 明 44. 5 | 上川管林区 署 | | | | 3 | | 4 | |
| 13 | " | トウヒ (") | <i>Picea jezcensis</i> (SIEB. et ZUCC.) CARR. var. <i>hondoensis</i> (MAYR) REHDER | 5 | 大 4. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 3 | | 1 | |
| 14 | " | ヨーロッパトウヒ (") | <i>Picea abies</i> (LINN.) KARST | 6 | 明 43. 5 | " | | | | 6 | | 5 | |
| 15 | " | ツガ (ツガ属) | <i>Tsuga sieboldii</i> CARR. | 2 | 明 45. 5 | 北海道社 | | | | 2 | | | |
| 16 | " | コメツガ (") | <i>Tsuga diversifolia</i> (MAXIM.) MASTERS | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 17 | " | トガサワラ (トガサワラ属) | <i>Pseudotsuga japonica</i> (SHIRASAWA) BEISSN. | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 18 | " | オレゴンパイン (") | <i>Pseudotsuga taxifolia</i> (POUR.) BRITT. | 6 | 明 43. 4 | 小樽苗畑 | | | | 6 | | 1 | |
| 19 | " | アカトドマツ (モミ属) | <i>Abies sachalinensis</i> (FR. SCHM.) MASTERS | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 20 | " | エゾシラビソ (") | <i>Abies sachalinensis</i> (FR. SCHM.) MAST. var. <i>nemorensis</i> MAYR | 4 | 明 45. 5 | 札幌管林区 分署 | | | | 1 | 伐 | | |
| 21 | " | モミ (") | <i>Abies firma</i> SIEB. et ZUCC. | 4 | " | — | | | | 4 | 伐 | | |
| 22 | " | シラベ (") | <i>Abies veitchii</i> LINDL | 5 | 大 2. 6 | 小樽苗畑 | | | | 5 | 伐 | | |
| 23 | " | アオモリトドマツ (") | <i>Abies mariesii</i> MASTERS | 5 | 大 4. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 5 | 伐 | | |
| 24 | " | シベリヤモミ (") | <i>Abies sibirica</i> LEDEB. | 6 | 明 43. 5 | 小樽苗畑 | | | | 6 | 伐 | | |
| 25 | スギ Taxodiaceae | コウヤマキ (コウヤマキ属) | <i>Sciadopitys verticillata</i> (THUNB.) SIEB. et ZUCC. | 3 | 明 45. 5 | 北海道社 | | | | 2 | 伐 | | |
| 26 | " | スギ (スギ属) | <i>Cryptomeria japonica</i> (LINN. fil.) D. DON | 6 | 明 44. 5 | 小樽苗畑 | | | | 6 | | 3 | 写真 2 |
| 27 | ヒノキ Cupressaceae | ヒノキアスナロ (アスナロ属) | <i>Thujaopsidis dclabrata</i> (LINN. fil.) SIEB. et ZUCC. var. <i>hondae</i> MAKINO | 6 | 明 43. 5 | " | | | | 4 | 伐 | | |
| 28 | " | クロベ (クロベ属) | <i>Thuja standishii</i> (GORD.) CARR. | 2 | 明 45. 5 | 北海道社 | | | | 2 | 伐 | | |
| 29 | " | ニオイヒバ (") | <i>Thuja occidentalis</i> LINN. | 6 | 明 43. 5 | — | | | | 5 | 伐 | | |

付表. 建築用材・船舶用材(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|----|--------------------------|---------------------|---|----|------------|----------------|--------|----------------|-------|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 30 | ヒノキ Cupressaceae | ヒノキ (ヒノキ属) | <i>Chamaecyparis obtusa</i> (SIEB. et ZUCC.) SIEB. et ZUCC. ap. ENDL. | 6 | 明 43. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 6 | 伐 | | |
| 31 | " | サワラ (") | <i>Chamaecyparis pisifera</i> (SIEB. et ZUCC.) SIEB. et ZUCC. ap. ENDL. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 32 | " | ローソンヒノキ (") | <i>Chamaecyparis lawsoniana</i> A. MURR. | 5 | 大 6. 5 | " | | | | 0 | 伐 | | |
| 33 | スギ Taxodiaceae | セコイヤ (セコイヤ属) | <i>Sequoia gigantea</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 34 | " | " | <i>Sequoia sempervirens</i> LAWS. | 1 | 大 3. 9 | 東北帝大農 科大学より | | | | 0 | | | |
| 35 | " | タクソジウム (タクソジウム属) | <i>Taxodium distichum</i> LINN. | 4 | 大 4. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 4 | 伐 | | |
| 36 | ニレ (Ulmaceae) | ケヤキ (ケヤキ属) | <i>Zelkova serrata</i> (THUNB.) MAKINO | 3 | 明 44. 5 | 北海道社 | | | | 1 | 伐 | | |
| 37 | " | メゲヤキ (") | <i>Zelkova serrata</i> (THUNB.) MAKINO var. <i>stipulacea</i> MAKINO | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 38 | モクレン Magnoliaceae | コブシ (モクレン属) | <i>Magnolia kobus</i> DC. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 3 1 | 大2.10 大5. 5 | 野幌国有林 | 3 | 伐 | | |
| 39 | " | ホオノキ (") | <i>Magnolia obobata</i> THUNB. | 6 | " | " | 2 | 大 9. 5 | " | 3 | 伐 | | |
| 40 | カツラ Cercidiphyllaceae | カツラ (カツラ属) | <i>Cercidiphyllum japonicum</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 41 | " | ヒカツラ (") | " | 6 | " | " | | | | 4 | 伐 | | |
| 42 | マメ Leguminosa | イヌエンジュ (イヌエンジュ属) | <i>Maackia amurensis</i> RUPR. et MAXIM. var. <i>buergeri</i> (MAXIM.) C. K. SCHN. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 43 | ミカン Rutaceae | キハダ (キハダ属) | <i>Phellodendron amurense</i> RUPR. | 6 | 大 3. 5 | " | 2 | 大 5. 11 | 野幌国有林 | 3 | 伐 | | |
| 44 | カエデ Aceraceae | イタヤカエデ (カエデ属) | <i>Acer mono</i> MAXIM. | 6 | 明 44. 5 | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 45 | ウコギ Araliaceae | ハリギリ (ハリギリ属) | <i>Kalopanax pictus</i> (THUNB.) NAKAI | 6 | 大 3. 5 | " | | | | 5 | 伐 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|------------------|--------------------|---|---|------------|----------------|---|-----------|---|---|---|---|
| 46 | モクセイ Oleaceae | ヤチダモ (トネリコ属) | <i>Fraxinus manduschuria</i> Rupr. var. <i>japonica</i> Maxim. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 5 | 伐 | |
| 47 | " | シオジ (") | <i>Fraxinus spaethiana</i> Lingelsh. | 3 | 明 45. 5 | 東北帝大農 科大学より | | | | 2 | 伐 | |
| 48 | " | アオダモ (") | <i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 5 | 伐 | |
| 49 | " | トネリコ (") | <i>Fraxinus japonica</i> Blume | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — |
| 50 | " | アメリカトネリコ (") | <i>Fraxinus americana</i> Linn. | 5 | 大 4. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 5 | 伐 | |
| 51 | " | 背トネリコ (") | <i>Fraxinus quadrangulata</i> | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — |
| 52 | " | ヨーロッパトネリコ (") | <i>Fraxinus excelsior</i> | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — |

船 舶 用 材

| | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------|--------------------|---|---|------------|---------------|---|----------------|---------------|---|--|----------------|
| 1 | イチイ Taxaceae | イチイ (イチイ属) | <i>Taxus cuspidata</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 5 | | 5 雄株 3 雌株 2 |
| 2 | マツ Pinaceae | ニホンカラマツ (カラマツ属) | <i>Larix leptolepis</i> (Sieb. et Zucc.) Gordon | 6 | " | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 5 | | 3 |
| 3 | " | クロマツ (マツ属) | <i>Pinus thunbergii</i> Parlat | 6 | 明 44. 5 | " | | | | 0 | | |
| 4 | ヒノキ Cupressaceae | ヒノキ (ヒノキ属) | <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Sieb. et Zucc.) Sieb. et Zucc. ap. Endl. | 6 | " | " | | | | 5 | | 3 |
| 5 | " | ヒノキアスナロ (アスナロ属) | <i>Thujaopsis dolabrata</i> (Linn. fil.) Sieb. et Zucc. <i>hondae</i> Makino | 6 | " | " | 2 | 大 2. 11 | 野幌林業試 験場苗畑 | 0 | | |
| 6 | カツラ Cercidiphyllaceae | カツラ (カツラ属) | <i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. et Zucc. | 6 | " | 野幌国有林 | 1 | 大9. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 4 | | |
| 7 | カエデ Aceraceae | イタヤカエデ (カエデ属) | <i>Acer mono</i> Maxim. | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 4 | | |
| 8 | " | ハウチワカエデ (") | <i>Acer japonicum</i> Thunb. | 6 | " | " | 1 | " | | 3 | | |
| 9 | ウコギ Araliaceae | ハリギリ (ハリギリ属) | <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai | 6 | 明 45. 5 | " | 1 | " | | 4 | | 1 |
| 10 | モクセイ Oleaceae | ヤチダモ (トネリコ) | <i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. var. <i>japonica</i> Maxim. | 6 | 明 44. 5 | " | | | | 6 | | 3 |
| 11 | ニレ Ulmaceae | ケヤキ (ケヤキ属) | <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino | 3 | " | 北海道社 | | | | 3 | | 1 写真 9 |

付 表. 船舶用材・土木用材

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭28 | 昭 52 | |
|---------|-----------------------|-------------------------|---|----|------------|---------------|--------|-----------------|---------------|-----|-----|------|---------|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 12 | ブ Fagaceae | ブ ナ ナ 属) | <i>Fagus crenata</i> BLUME | 6 | 明 43. 5 | 函館区金浜 花園 | | | | 6 | | 5 | 写真 6 |
| 土 木 用 材 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | マ Pinaceae | シベリヤカラマツ (カ ラ マ ツ 属) | <i>Larix sibirica</i> LEDEB. | 5 | 明 45. 5 | 紗那営林区 分署 | | | | 5 | | 2 | |
| 2 | " | ダフリカカラマツ (") | <i>Larix dahurica</i> var. <i>japonica</i> | 5 | " | " | | | | 5 | | 3 | |
| 3 | " | ニホンカラマツ (") | <i>Larix leptolepis</i> (SIEB. et ZUCC.) GORD. | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 6 | | 1 | |
| 4 | " | ヨーロッパカラマツ (") | <i>Larix decidua</i> MILLER | 6 | " | " | | | | 6 | | 1 | |
| 5 | " | アメリカカラマツ (") | <i>Larix americana</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 6 | " | ク ロ マ ツ (マ ツ 属) | <i>Pinus thunbergii</i> PARLAT | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 4 | | | |
| 7 | " | ア カ マ ツ (") | <i>Pinus densiflora</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | " | | | | 2 | | | |
| 8 | ヒ ノ キ Cupressaceae | ヒノキアスナロ (ア ス ナ ロ 属) | <i>Thujaopsis dolabrata</i> (LINN. fil.) SIEB. et ZUCC. var. <i>hondae</i> MAKINO | 6 | " | " | | | | 5 | | 3 | |
| 9 | " | ヒ ノ キ (ヒ ノ キ 属) | <i>Chamaecyparis obtusa</i> (SIEB. et ZUCC.) SIEB. et ZUCC. ap. ENDL. | 6 | " | 小樽苗畑 | | | | 6 | | 4 | |
| 10 | " | サ ワ ラ (") | <i>Chamaecyparis pisifera</i> (SIEB. et ZUCC.) SIEB. et ZUCC. ap. ENDL. | 6 | " | " | | | | 6 | | 3 | |
| 11 | ス ギ Taxodiaceae | コウヤマキ (コウヤマキ属) | <i>Sciadopitys verticillata</i> (THUNB.) SIEB. et ZUCC. | 1 | 明 45. 5 | 北海道社 | | | | 0 | | | |
| 12 | ブ ナ Fagaceae | ク リ 属) | <i>Castanea crenata</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | 札 幌 | 3 | 大 2. 11 | 札幌郡白石 | 3 | | 2 | |
| 13 | " | カ シ ワ (コ ナ ラ 属) | <i>Quercus dentata</i> THUNB. | 6 | " | 野幌林業試 験場苗畑 | 3 | 大 4. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | 5 | | 3 | |
| 14 | " | ミ ズ ナ ラ (") | <i>Quercus mongolica</i> FISCH. var. <i>grosse- serrata</i> (BLUME) REHD. et WILS | 6 | " | 野幌国有林 | 2 1 | 大2. 10 大5. 5 | 野幌国有林 | 6 | | 4 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|------------------------|------------------------|--|---|------------|----------------|---|------------|-------|---|---|---------|
| 15 | " | " | " | 6 | " | " | 1 | 大 4. 5 | " | 3 | 2 | |
| 16 | ウ コ ギ Araliaceae | ハリギリ (ハリギリ属) | <i>Kalopanax pictus</i> (THUNB.) NAKAI | 2 | " | " | 1 | 大 2.10 | " | 3 | | |
| 17 | モ ク セ イ Oleaceae | ヤチダモ (トネリコ属) | <i>Fraxinus manschurica</i> RUPR. var. <i>japonica</i> MAXIM. | 6 | 明 44. 5 | " | | | | 6 | 3 | 写真 6 |
| 18 | マ メ Leguminosae | ハリエンジュ (ハリエンジュ属) | <i>Robinia pseudoacacia</i> | 5 | 明 45. 5 | 野幌林業試 験場 | | | | 5 | 4 | 写真 6 |
| 器 具 用 材 | | | | | | | | | | | | |
| 1 | イ チ ョ ウ Ginkgoaceae | イ チ ョ ウ (イ チ ョ ウ 属) | <i>Ginkgo biloba</i> LINN. | 6 | 明 43. 5 | 小樽苗畑 | | | | 6 | 2 | |
| 2 | イ チ イ Taxaceae | イ チ イ (イ チ イ 属) | <i>Taxus cuspidata</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | 野幌国有林 | | | | 3 | | |
| 3 | イヌガヤ Cephalotaceae | イヌガヤ (イヌガヤ属) | <i>Cephalotaxus harringtonia</i> (KNIGHT) K. KOCH | 6 | " | " | | | | 4 | 4 | |
| 4 | マ ツ Pinaceae | ヒメコマツ (マ ツ 属) | <i>Pinus parviflora</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | 小樽苗畑 | | | | 6 | | |
| 5 | " | キタゴヨウ (") | <i>Pinus parviflora</i> SIEB. et ZUCC. var. <i>pentaphylla</i> (MAYR) HENRY | 6 | " | " | 3 | 明 43. 4 | 日高国様似 | 0 | | |
| 6 | " | チョウセンゴヨウ (") | <i>Pinus koraiensis</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | " | " | | | | 6 | 3 | |
| 7 | " | アカエゾマツ (トウヒ属) | <i>Picea glehnii</i> (FR. SCHM.) MASTERS | 6 | 明 44. 5 | 上川営林区 署 | 6 | 大 9. 5 | | 5 | 3 | |
| 8 | ヒ ノ キ Cupressaceae | イ ブ キ (ビャクシン属) | <i>Juniperus chinensis</i> LINN. | 2 | 明 45. 5 | — | | | | 1 | 1 | |
| 9 | " | エンビツビャクシン (") | <i>Juniperus virginiana</i> | 2 | 大 6. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 0 | | |
| 10 | ク ル ミ Juglandaceae | サワグルミ (サワグルミ属) | <i>Pterocarya rhoifolia</i> SIEB. et ZUCC. | 1 | 明 45. 5 | 東北帝大農 科大学より | | | | 1 | 1 | |
| 11 | " | オニグルミ (ク ル ミ 属) | <i>Juglans ailantifolia</i> CARR. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | | |
| 12 | " | ヒメグルミ (") | <i>Juglans ailantifolia</i> CARR. var. <i>cordiformis</i> (MAXIM.) REHDER | 6 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 6 | | |
| 13 | " | テウチクルミ (") | <i>Juglans regia</i> var. <i>sinensis</i> auct. japon. non DC. | 2 | 明 45. 5 | 東北帝大農 科大学より | | | | 2 | 伐 | |
| 14 | " | シロクルミ (") | <i>Juglans cinera</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | |

付表. 器具用材(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 昭 28 | | 昭 52 | |
|----|-------------------------|--------------------------------|--|----|------------|---------------|--------|----------------|-------|----------|----|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 15 | ク ル ミ Juglandaceae | ク ロ ク ル ミ (ク ル ミ 属) | <i>Juglans nigra</i> LINN. | 4 | 大 6. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 4 | 伐 | | |
| 16 | ブ Fagaceae | ブ ナ (ブ ナ 属) | <i>Fagus crenata</i> BLUME | 6 | 明 44. 5 | 函館区金浜 花園 | | | | 6 | 伐 | | |
| 17 | " | ア メ リ カ ブ ナ (" 属) | <i>Fagus grandifolia</i> EHRN. | 2 | 大 6. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 0 | | | |
| 18 | " | ヨ ー ロ ッ パ ブ ナ (" 属) | <i>Fagus sylvatica</i> LINN. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 19 | ニ レ Ulmaceae | ハ ル ニ レ (ニ レ 属) | <i>Ulmus davidiana</i> PLANCH. var. <i>japonica</i> (REHD.) NAKAI | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 5 | 伐 | | |
| 20 | " | オ ヒ ヨ ウ (" 属) | <i>Ulmus laciniata</i> (TRAUTV.) MAYR | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 2 | 伐 | | |
| 21 | ク ワ Moraceae | ト ウ グ ワ (ク ワ 属) | <i>Morus alba</i> LINN. | 6 | " | " | 1 | " | | 6 | 伐 | | |
| 22 | モ ク レ ン Magnoliaceae | コ ブ シ (モ ク レ ン 属) | <i>Magnolia kobus</i> DC. | 6 | " | " | 1 | " | | 6 | 伐 | | |
| 23 | " | ホ オ ノ キ (" 属) | <i>Magnolia obovata</i> THUNB. | 6 | " | " | 1 | " | | 6 | 伐 | | |
| 24 | バ ラ Rosaceae | ズ ミ (リ ン ゴ 属) | <i>Malus sieboldii</i> (REGEL) REHDER | 2 | 大 8. 5 | " | | | | 0 | | | |
| 25 | " | ア ズ キ ナ シ (ナ ナ カ マ ド 属) | <i>Sorbus alnifolia</i> (SIEB. et ZUCC.) C. KOCH | 6 | 明 43. 5 | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 26 | " | ナ ナ カ マ ド (" 属) | <i>Sorbus commixta</i> HEDL. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 27 | " | シ ウ リ ザ ク ラ (サ ク ラ 属) | <i>Prunus ssiori</i> FR. SCHM. | 6 | " | " | 3 1 | 大4. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 2 | 伐 | | |
| 28 | " | ウ ワ ミ ズ ザ ク ラ (" 属) | <i>Prunus grayana</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | 6 | 伐 | | |
| 29 | " | エ ソ ノ ウ ワ ミ ズ ザ ク ラ (" 属) | <i>Prunus padus</i> LINN. | 6 | " | 上川営林区 署 | | | | 6 | 伐 | | |
| 30 | マ メ Leguminosae | イ ヌ エ ン ジ ュ (イ ヌ エ ン ジ ュ 属) | <i>Maackia amurensis</i> RUPR. et MAXIM. var. <i>buengerii</i> (MAXIM.) C. K. SCHM. | 6 | 明 43. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|----------------------------|--------------------|--|---|------------|---------------|---|----------------|---------------|---|---|-----------|
| 31 | ミカ Rutaceae | キハダ (キハダ属) | <i>Phellodendron amurense</i> RUPR. | 6 | 大 3. 5 | " | | | | 6 | 伐 | |
| 32 | ニガキ Simaroubaceae | ニガキ (ニガキ属) | <i>Picrasma quassioides</i> (D. DON) BLUME | 6 | 明 44. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | 伐 | |
| 33 | ウルシ Anacardiaceae | ヤマウルシ (ウルシ属) | <i>Rhus trichocarpa</i> MIQ. | 1 | 大 2.11 | 後志国余市 村 | | | | 1 | 伐 | |
| 34 | " | ヌルデ (") | <i>Rhus javata</i> LINN. | 3 | 明 43. 5 | " | 5 | 大 6. 5 | 親木の萌芽 | 0 | | |
| 35 | " | ウルシ (") | <i>Rhus verniciiflua</i> STOKES | 4 | 明 44. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 4 | 伐 | |
| 36 | カエデ Aceraceae | イタヤカエデ (カエデ属) | <i>Acer mono</i> MAXIM. | 6 | " | 野幌国有林 | | | | 4 | 伐 | |
| 37 | " | ハウチワカエデ (") | <i>Acer japonicum</i> THUNB. | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 4 | | |
| 38 | トチノキ Hippocastanaceae | トチノキ (トチノキ属) | <i>Aesculus turbinata</i> BLUME | 6 | " | 野幌林業試 験場苗畑 | 2 | 大 2.11 | 野幌林業試 験場苗畑 | 6 | | 4 写真 8 |
| 39 | " | ヨーロッパトチノキ (") | <i>Aesculus</i> | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — |
| 40 | ウコギ Araliaceae | ハリギリ (ハリギリ属) | <i>Kalopanax pictus</i> (THUNB.) NAKAI | 1 | 大 3. 5 | 野幌国有林 | 2 | 大 4. 5 | 野幌国有林 | 2 | | 1 |
| 41 | " | コシアブラ (ウコギ属) | <i>Acanthopanax sciadophylloides</i> FRANCH. | 6 | " | " | | | | 6 | | |
| 42 | エゴノキ Styracaceae | エゴノキ (エゴノキ属) | <i>Styrax japonica</i> SIEB. et ZUCC. | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — |
| 43 | " | ハクウンボク (") | <i>Styrax obassia</i> SIEB. et ZUCC. | 6 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 2 | 大2. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 6 | | |
| 44 | ミズキ Cornaceae | ミズキ (ミズキ属) | <i>Cornus controversa</i> HEMSLEY | 6 | " | " | 1 | 大4. 5 大5. 5 | " | 3 | | |
| 45 | モクセイ Oleaceae | アオダモ (トネリコ属) | <i>Fraxinus lanuginosa</i> KOIDS. | 6 | 明 44. 5 | " | 3 | " " | | 6 | | |
| 46 | " | ヤチダモ (") | <i>Fraxinus mandshurica</i> RUPR. var. <i>japonica</i> MAXIM. | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | 6 | | 5 |
| 47 | " | ハシドイ (ハシドイ属) | <i>Syringa reticulata</i> (BLUME) HARA | 6 | 明 45. 5 | " | | | | 1 | | 1 |
| 48 | ゴマノハグサ Scrophulariaceae | キリ (キリ属) | <i>Paulownia tomentosa</i> (THUNB.) STEUD. | 6 | " | 北海道社 | | | | | | |

野幌林業試験場樹木園の造成経過と現状分析 (研究資料) (丹木)

付表. マッチ用材・製紙用材・薪炭用材(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|-----------|-------------------------|----------------------|--|----|------------|------------|-----|-----------|-----|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| マ ッ チ 用 材 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | マ ツ Pinaceae | アカマツ (マツ属) | <i>Pinus densiflora</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 45. 5 | 野幌林業試験場苗畑 | | | | | 4 | 伐 | |
| 2 | " | ヒメコマツ (マツ属) | <i>Pinus parviflora</i> Sieb. et Zucc. | 6 | 明 43. 5 | 小樽苗畑 | | | | | 5 | 伐 | |
| 3 | " | エゾマツ (トウヒ属) | <i>Picea jezoensis</i> (Sieb. et Zucc.) Carr. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | | 2 | 伐 | |
| 4 | ヤ ナ ギ Salicaceae | ヤマナラシ (ハコヤナギ属) | <i>Populus sieboldii</i> Miq. | 6 | " | 札幌郡山田苗畑 | | | | | 1 | 伐 | |
| 5 | " | ドロヤナギ (ヤナギ属) | <i>Populus maximowiczii</i> Henry | 6 | " | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | | 5 | 伐 | |
| 6 | " | セイヨウハコヤナギ (ヤナギ属) | <i>Populus nigra</i> Linn. var. <i>italica</i> Muench. | 6 | 明 43. 5 | 東北帝大農科大学より | | | | | 5 | 伐 | |
| 7 | " | ピラミダリスポプラ (ポプラ属) | <i>Populus pyramidalis</i> (Borkh.) Spach. | 2 | 大 2. 5 | " | | | | | 0 | | |
| 8 | " | モニリフェラポプラ (ポプラ属) | <i>Populus monilifera</i> Ait. | 6 | 明 44. 5 | " | 1 | 大 5. 5 | | | 1 | 伐 | |
| 9 | ク ル ミ Juglandaceae | サワグルミ (サワグルミ属) | <i>Pterocarya rhoifolia</i> Sieb. et Zucc. | 5 | 大 4. 5 | 野幌林業試験場苗畑 | | | | | 5 | 伐 | |
| 10 | シ ナ ノ ギ Tiliaceae | シナノキ (シナノキ属) | <i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonkai | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | | 4 | 伐 | |
| 11 | " | オオバボダイジュ (シナノキ属) | <i>Tilia maximowicziana</i> Simonkai | 6 | " | " | 1 | 大 5. 5 | | | 5 | 伐 | |
| 12 | " | アメリカシナノキ (シナノキ属) | <i>Tilia americana</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 13 | " | ヨーロッパシナノキ (シナノキ属) | <i>Tilia europaea</i> | 4 | 大 3. 5 | 東北帝大農科大学より | | | | | 2 | 伐 | |
| 14 | モ ク レ ン Magnoliaceae | ホオノキ (モクレン属) | <i>Magnolia obovata</i> Thunb. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | | 5 | 伐 | |

製 紙 用 材

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|-------------------|--|---|------------|---------------|---|------------|---------------|---|---------|---|---------|
| 1 | マ ツ Pinaceae | エゾマツ (トウヒ属) | <i>Picea jezoensis</i> (SIEB. et ZUCC.) CARR. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | | | | 6 | 伐 | | |
| 2 | " | アカエゾマツ (") | <i>Picea glehnii</i> (FR. SCHM.) MAST. | 6 | " | 上川管林区 署 | | | | 2 | | 2 | 写真 6 |
| 3 | " | トウヒ (") | <i>Picea jezoensis</i> (SIEB. et ZUCC.) CARR. var. <i>hondoensis</i> (MAYR) REHDER. | 5 | 大 3. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 5 | 伐 | | |
| 4 | " | アカトドマツ (モミ属) | <i>Abies sachalinensis</i> (FR. SCHM.) MAST. | 6 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 2. 10 | 野幌林業試 験場苗畑 | 6 | 伐 | | |
| 5 | ヤ ナ ギ Salicaceae | ヤマナラシ (ハコヤナギ属) | <i>Populus sieboldii</i> MIQ. | 6 | 明 43. 5 | 札幌郡山島 苗畑 | | | | 1 | 伐 | | |
| 6 | " | ドロヤナギ (") | <i>Populus maximowiczii</i> HENRY | 6 | 大 3. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 1 | 伐 | | |
| 7 | カバノキ Betulaceae | ヤマハンノキ (ハンノキ属) | <i>Alnus incana</i> var. <i>glauca</i> REGEL | 6 | " | " | 1 | " | | 1 | 伐 | | |
| 8 | " | カワラハンノキ (") | <i>Alnus serrulataoides</i> CALLIER | 6 | " | " | 1 | " | | 4 | 一部 伐 | 1 | 写真 2 |
| 9 | ブ ナ Fagaceae | イヌブナ (ブナ属) | <i>Fagus japonica</i> MAXIM. | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |

薪 炭 用 材

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|--------------------|---|---|------------|------------|--------|----------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | カバノキ Betulaceae | サワシバ (クマシデ属) | <i>Carpinus cordata</i> BLUME | 6 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 3 1 | 大4. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 5 | 伐 | | |
| 2 | " | アカシデ (") | <i>Carpinus laxiflora</i> (SIEB. et ZUCC.) BLUME | 1 | 大 8. 5 | 苦小牧演習 林 | | | | 0 | | | |
| 3 | " | アメリカシデ (") | <i>Carpinus carolimana</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 4 | " | アサダ (アサダ属) | <i>Ostrya japonica</i> SARG. | 1 | 明 45. 5 | 野幌国有林 | 3 1 | 大4. 5 大5. 5 | 野幌国有林 | 3 | 伐 | | |
| 5 | " | アメリカアサダ (") | <i>Ostrya virginica</i> | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 6 | " | シラカンバ (カバノキ属) | <i>Betula platyphylla</i> SUKATCHEV var. <i>japonica</i> (MIQ.) HARA | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | 3 | 大 4. 5 | 野幌国有林 | 2 | 伐 | | |
| 7 | " | ウダイカンバ (") | <i>Betula maximowicziana</i> REGEL | | 未 植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 8 | " | カワラハンノキ (ハンノキ属) | <i>Alnus serrulataoides</i> CALLIER | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | 1 | 大 5. 5 | | 5 | | 4 | |

付表. 薪炭用材(つづき)

| 区画 | 新 植 | | | | | | 補 植 | | | 大 4 | 昭 28 | 昭 52 | |
|----|--------------------|--------------------|---|----|------------|----------------|-----|------------|------------|-----|------|------|----|
| | 科 名 | 和 名 | 学 名 | 本数 | 年 月 | 苗 木 | 本数 | 年 月 | 摘 要 | 本数 | 伐否 | 本数 | 摘要 |
| 9 | カバノキ Betulaceae | ヤマハンノキ (ハンノキ属) | <i>Alnus hirsuta</i> TURCZ. var. <i>sibirica</i> (FISCHER) C. K. SCHN. | 6 | 明 44. 5 | 函館区金浜 花園 | 1 | 大 4. 5 | 野幌国有林 | 1 | | | |
| 10 | ブナ Fagaceae | ブナ (ブナ属) | <i>Fagus crenata</i> BLUME | 1 | " | " | | | | 1 | | | |
| 11 | " | " | " | 1 | " | " | | | | 1 | | 1 | |
| 12 | " | イヌブナ (" 属) | <i>Fagus japonica</i> MAXIM. | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 13 | " | アメリカブナ (" 属) | <i>Fagus ferruginea</i> var. C. LOUD | 1 | 大 6. 5 | 野幌林業試 験場苗畑 | | | | 0 | | | |
| 14 | " | ヨーロッパブナ (" 属) | <i>Fagus sylvatica</i> LINN. | | 未植 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 15 | " | カシワ (コナラ属) | <i>Quercus dentata</i> THUNB. | 6 | 明 44. 5 | 野幌国有林 | 4 | 大 2. 11 | 札幌郡白石 村 | 2 | | 3 | |
| 16 | " | ミズナラ (" 属) | <i>Quercus mongolica</i> FISCHER var. <i>grosseserrata</i> (BLUME) REHD. et WILS. | 6 | " | " | 4 | 大 3. 5 | 野幌国有林 | 5 | | 4 | |
| 17 | " | " | " | 6 | " | " | | | | 6 | | 2 | |
| 18 | カエデ Aceraceae | イタヤカエデ (カエデ属) | <i>Acer mono</i> MAXIM. | 6 | " | " | | | | 6 | | 6 | |
| 19 | " | ハウチワカエデ (" 属) | <i>Acer japonicum</i> THUNB. | 6 | " | " | | | | 6 | | | |
| 20 | " | イロハモミジ (" 属) | <i>Acer palmatum</i> THUNB. | 6 | 明 45. 5 | " | | | | 6 | | 1 | |
| 21 | " | サトウカエデ (" 属) | <i>Acer saccharum</i> MARSH. | 6 | " | 野幌林業試 験場苗畑 | 5 | 大 4. 5 | | 5 | | | |
| 22 | " | ノルウェーカエデ (" 属) | <i>Acer saccharum</i> MARSH. var. <i>nigrum</i> | 6 | " | 東北帝大農 科大学より | | | | 6 | | 1 | |